

## 会 告 目 次

「連続セミナー93」	色紙
「1994年情報学シンポジウム」の開催日の変更について	色紙
研究発表会開催通知	2
第32回情報学基礎研究会	2
第86回コンピュータビジョン研究会	3
第51回ヒューマンインタフェース研究会	3
第98回自然言語処理研究会	4
第73回記号処理研究会	4
第91回人工知能研究会	5
第36回アルゴリズム研究会	5
第20回人文科学とコンピュータ研究会	6
第30回コンピュータと教育研究会	7
第95回ソフトウェア工学研究会	7
平成5年度各種行事予定	9
「ソフトウェア工学小規模国際会議'93」について	10
大学等における一般情報処理教育の在り方に関する調査研究報告書頒布のお知らせ	13
研究会発表申込書	14
情報処理学会 第48回 全国大会実施要領	15
シンポジウム, 講習会, 全国大会, 学会誌, 論文誌の残部購入について	19
奨励賞候補の推薦について	22
CALL FOR PAPERS—1994年並列処理シンポジウム	23
「画像の認識・理解シンポジウム (MIRU' 94)」論文募集	24
第10回色彩工学コンファレンス	25
「学会誌特集 세미나: グループウェアの実現に向けて」開催について	27
「マルチメディア通信と分散処理ワークショップ」開催のご案内	29
「知識のリフォーメーション」シンポジウム開催について	32
「アドバンスト・データベースシステム・シンポジウム'93及び併設講習会」開催について	34
第24回画像工学コンファレンス	37
「第35回プログラミング・シンポジウム」開催のお知らせ	41
「連続セミナー93」参加申込/議事録バックナンバー申込書	44
情報処理学会シンポジウム, 講習会論文集リスト (90,91,92,93年版)	45
変更事項のご連絡について (お願い)	46
本会協賛等の行事案内	46
本会名を使った勧誘にご注意ください	46
支部だより	47
特許関係の論文発表証明手数料について	48
会 議 案 内	49
教 官 募 集	50
雑 報	51
会員の方へお願い	52

## 研究発表会開催通知

(平成5年10月15日～11月30日)

研究会名	日 時		会 場	備 考
情報システム	10月19日(火)	9:30～17:00	工 学 院 大	前号参照
計算機アーキテクチャ	10月21日(木)	9:00～17:00	ソ ニ ー (品 川)	同 上
グラフィクスとCAD	10月22日(金)	10:30～17:00	岩 手 大	同 上
音楽情報科学	10月23日(土)	13:00～16:30	早 大	同 上
設計自動化	10月28日(木)	13:00～17:30	ときわ湖水ホール	同 上
情報メディア } 合同 グループウェア }	10月28日(木)	13:00～17:15	三 重 大	同 上
	10月29日(金)	9:30～17:15		
データベースシステム	10月29日(金)	9:00～17:00	広島ガーデンパレス	同 上
プログラミング —言語・基礎・実践—	10月29日(金)	10:00～17:20	工 学 院 大	同 上
情報学基礎	11月9日(火)	10:00～17:15	同 上	下記参照
コンピュータビジョン	11月11日(木)	10:20～15:20	北 陸 先 端 大	同 上
ヒューマンインタフェース	11月11日(木)	13:00～17:00	N E C (大 阪)	同 上
自然言語処理	11月19日(金)	9:40～17:15	電 総 研	同 上
記号処理	11月19日(金)	10:20～17:00	長 野 大	同 上
人工知能	11月24日(水)	10:30～16:10	工 学 院 大	同 上
アルゴリズム	11月25日(木)	9:00～17:30	大 阪 電 通 大	同 上
人文科学とコンピュータ	11月26日(金)	10:00～17:10	岡 山 大	同 上
コンピュータと教育	11月26日(金)	13:00～17:20	工 学 院 大	同 上
ソフトウェア工学	11月30日(火)	9:30～17:00	東 工 大	同 上

## ◆第32回 情報学基礎研究会

(発表件数: 8件)

(主査: 細野公男, 幹事: 石塚英弘, 中川 優, 尹 博道)

日 時 平成5年11月9日(火) 10:00～17:15

会 場 工学院大学 11階 第5会議室

[東京都新宿区西新宿1-24-2, JR: 新宿(西口)下車, 徒歩10分, Tel.(03)3342-1211]

議 題 特集: 情報基盤の整理と利用技術について

—10:00～12:00—

## (1) 情報検索システム評価用データベースの構築の提案

木本晴夫, 田中智博 (NTT), 石川徹也, 増永良文 (情報大), 小川泰嗣 (リコー)

芥子育雄 (シャープ), 福島俊一 (NEC), 豊浦 潤 (三菱電機)

[概要] 研究開発者が共通に利用できる標準的な評価用DBの必要性とその構築における諸問題を述べる。

## (2) 関数従属性と概念従属性の相互作用を対象とした正規形データベーススキーム作成手法

山田光博, 中川 優 (NTT)

[概要] 関数従属性の導出律に加え, 包含従属性との相互作用をも一部対象とした関数従属性の導出手法を提案。

- (3) ニューラルネットワークの新聞株価データ読み取りへの応用 原田 実, 大野雅志 (青山学院大)  
 [概要] 新聞紙の株価データをニューロ, 補助処理を用い認識し, 数値データを株価ファイルに追加する。

—13:00~17:15—

- (4) 日本電子化辞書研究所における概念体系 萩野孝野, 仲尼由雄, 小笠原あゆみ, 長沢陽子 (EDR)  
 [概要] 約20万概念見出しを対象とした概念体系の概要, 作成手順, 特色などについて報告する。

- (5) 既存システム分析による情報整備手法 町原宏毅, 丸山則夫 (NTT)  
 [概要] 複雑な情報システム間の情報流通を考慮した, 情報整理の手順を示す。

- (6) 情報資源化のための概念構造抽出方式 佐野彦磨, 王 晞唱, 藤原 讓 (筑波大)  
 [概要] 特定の用語, 構文に着目した構文解析により概念関係を抽出し, 概念知識として一般化可能な手法を提案。

- (7) 意味の数学モデルとその応用 北川高嗣, 清水 泰 (筑波大)  
 [概要] 意味素に統計的な手法で文脈依存の意味を推定し, マニュアル, プログラム等への適用結果を報告する。

- (8) 歴史系テキストデータへのリバースエンジニアリング応用の基礎的研究 藤田 茂, 菅原研次, 伊興田光宏 (千葉工大), 八重樫純樹 (歴博)  
 [概要] 歴史系研究の文字列型式情報からデータの意味情報を抽出し, 分析支援システムの基礎実験を試みた。

### ◆第86回 コンピュータビジョン研究会

(発表件数: 5件)

(主査: 杉原厚吉, 幹事: 井宮 淳, 谷口倫一郎, 長谷川純一)

日時 平成5年11月11日(木) 10:20~15:20

会場 北陸先端科学技術大学院大学 小ホール(材料棟1階)

[石川県能美郡辰口町旭台15, JR: 金沢下車, バス: 西金沢下車, 北陸鉄道: 鶴来下車, タクシー約10分(1200円程度), または金沢市内よりバス(香林坊停留所8:00発(1日1便のみ)・辰口ハイタウン行): 北陸先端大下車。(復路は北陸先端大前17:26発のみ)。Tel.(0761)51-1266 阿部]

議題

—10:20~11:40—

- (1) ほげ情報を用いた定性的距離情報の獲得 津幡靖広, 八木康史, 谷内田正彦 (阪大)  
 (2) フローからの3次元推定における最尤推定量が最適でない証明

遠藤利生, 鳥生 隆 (富士通研), 田川憲男 (都立大)

—13:00~14:20—

- (3) 高速画像処理用並列計算機RIPE上での計算量の多いフィルタの実現と評価  
 金川英一, 中西弘泰, 本沢邦朗, 今井正治 (豊橋技科大), 長谷川純一 (中京大)

- (4) 自立移動ロボット用位置姿勢認識について 笹木美樹男, 金山幸礼, 斉藤英樹, 伊東正篤 (日本電装)

—14:40~15:20—

- (5) 招待講演: “均等色空間・系統的画像符号化”と視覚・Display・伝送系の非直線について

宮原 誠 (北陸先端大)

\*研究会終了後, 北陸先端科学技術大学院大学の教育施設の見学(30分程度)を予定しております。

### ◆第51回 ヒューマンインタフェース研究会

(発表件数: 6件)

(主査: 安西祐一郎, 幹事: 井関 治, 小川克彦, 来住伸子)

日時 平成5年11月11日(木) 13:00~17:00

会場 NEC関西ビル

[大阪市中央区城見1-4-24, JR(大阪環状線, 片町線), または京阪電車: 京橋下車, 大阪ビジネスパーク(OBP)方面出口。Tel.(06)945-3214]

議題

#### ●文書処理インタフェース —13:00~14:10—

- (1) 文書処理システム用ドキュメントリーダー 伊藤悦雄, 武田公人 (東芝)  
 [概要] 文書処理システムへの入力用OCRに要求される機能の検討と, ドキュメントリーダーの試作。

- (2) 手紙文/論文作成支援システムの開発と評価

高尾直弥, 経田樹朗, 恒川昌昭, 對馬常人, 辻 敦生, 杉村領一 (松下電器)

[概要] 文例と文章アウトライン/書き方のアドバイス機能を備えたシステムの評価を中心に紹介。

#### ●マルチメディアのインタフェース —14:25~15:35—

- (3) 画像処理を用いた操作入力インタフェース

秋藤俊介 (日立), 徳田圭世 (日立西部ソフトウェア), 広瀬 正 (日立)

[概要] 専用プロセッサを用いずにユーザの動作を実時間で認識する手法とユーザインタフェースへの応用。

(4) 情報検索システムへのドライビングメタファの適用の提案 増尾 剛 (NTT)

[概要] 自動車を運転するような感覚で情報検索を行うメタファの提案およびその有効性についての考案。

●コミュニケーションのインタフェース -15: 50~17: 00-

(5) 空間図形ビューアを用いた教育環境の開発 上窪真一 (NEC)

[概要] 空間概念の把握と3次元情報視覚化を支援する「空間図形ビューア」を利用した教育環境の開発。

(6) 会議システムにおける映像の役割 大庭有二, 三上憲一, 斉藤 実 (NTT)

[概要] 模擬TV会議における音声情報に対し, 映像が果たす役割を被験者の映像提示要求の割合から分析。

\*研究会終了後, 簡単な懇親会を予定しています。

◆第98回 自然言語処理研究会

(発表件数: 11件)

(主査: 野村浩郷, 幹事: 永井秀利, 林 良彦, 丸山 宏)

日 時 平成5年11月19日(金) 9: 40~17: 15

会 場 電子技術総合研究所 C713 中会議室

[つくば市梅園 1-1-4, JR(常磐線): 荒川沖(東口)下車, 関東鉄道バス(筑波大学中央行): 並木2丁目下車, 徒歩5分, または東京駅八重洲(南口)より常磐高速バス:(つくばセンター行): 並木大橋下車, 徒歩10分。

Tel.(0298)58-5929 (自然言語研究室)]

議 題

-9: 40~12: 00-

(1) べた書きかな文の仮文節境界の補正法 荒木哲郎(福井大), 池原 悟(NTT), 土橋潤也(福井大)

[概要] マルコフモデルによるかな文の仮文節切りの妥当性を, 単語辞書引きにより補正する効果について示す。

(2) 形態素情報による日本語の係り受け解析 山上晃司, 安原 宏(沖電気)

[概要] 格情報などを使わず, 品詞などの基礎的な情報のみで日本語の係り受けを解析するための規則の提案。

(3) 法律文における並列構造の特徴とそれに基づく制限言語モデルについて

岩本秀明(NTT), 永井秀利, 中村貞吾, 野村浩郷(九工大)

[概要] 法令用語の構文的制約を整理し, それにより法律文並列構造の制限言語モデルを提案する。

(4) 多様な自然文からの知識獲得 安藤司文, 益谷 真, 守屋秀洋(敬和学園大)

[概要] 多様な表現で家族関係を記述した自然文から, 知識を獲得し, データベースを構築する方法を紹介する。

-13: 00~17: 15-

(5) 「原因-結果」を表す複文の素性構造表現 西澤信一郎, 中川裕志(横浜国大)

[概要] 接続助詞「ので」による複文の semantic 情報を素性構造表現するための手法を検討する。

(6) 終助詞の関係意味論的考察(2) -「ぞ」「ぜ」を中心として- 小野 晋, 中川裕志(横浜国大)

[概要] 以前発表した終助詞「よ」「ね」の考察を批判的に再検討し, 「ぞ」「ぜ」について同様に考察する。

(7) 一般化された実例と確率を用いた曖昧性解消 李 航(NEC)

[概要] ハイパーソーラスを構築し, 意味確率と構文確率の統計を行い, 曖昧性解消の実験を行った。

(8) 文脈制約と文脈嗜好を利用した文脈処理システム DIANA 那須川哲哉(日本IBM)

[概要] 同文脈中の語の振舞いを参照して曖昧性解消を行う処理手法と, その実験結果について述べる。

(9) 語彙的結束性に着目した文章抄録法の提案 佐々木一朗, 増山 繁(豊橋技科大), 内藤昭三(NTT)

[概要] 語彙的結束性を表現する結束チャートを利用して日本語文章の抄録作成を試み, その有効性を検討する。

(10) 分類の出現傾向を考慮したキーワード抽出の試み 鈴木 斎, 増山 繁(豊橋技科大), 内藤昭三(NTT)

[概要] 意味分類の出現傾向の利用により, 日本語文章のキーワード抽出の精度向上を試みた結果を検討する。

(11) 大量の文書データから自動抽出した名詞間共起関係による文書の自動分類 湯浅夏樹(シャープ)

[概要] 新聞記事一年分から抽出した名詞間共起関係を用いた新聞記事の分類と, その分類結果の評価。

◆第73回 記号処理研究会

(発表件数: 6件)

(主査: 小川貴英, 幹事: 天海良治, 寺田 実, 湯浦克彦)

日 時 平成5年11月19日(金) 10: 20~17: 00

会 場 長野大学 産業社会学部 情報システム研究所棟 3階 第3会議室

[上田市下之郷, 信越本線: 上田下車(上野から特急(1時間に1本)で約2時間半), 別所線: 大学前下車(約20分),

徒歩約 10 分, または上田よりタクシー (約 20 分), Tel.(0268)38-2350]

## 議 題

—10: 20~12: 00—

- (1) 生成順序保存型コピー方式 GC の世代別管理への応用 小出 洋, 野下浩平 (電通大)

[概要] オブジェクトの生成順序を保存する前提のもとで, コピー方式 GC を行う方法とその応用について述べる。

- (2) パッケージシステムの分散環境への拡張

泉 達也 (日立東北ソフトウェア), 友永佳津子 (日立)

[概要] Remote Procedure Call をパッケージの延長として考察した。Prolog での実現方法を検討した。

—13: 00~17: 00—

- (3) 見学: 長野大学キャンパス内 (13: 00~13: 30)

- (4) SIMD 型超並列計算機による並列数式処理系

大野智保, 高橋岳之, 斉藤制海, 湯浅太一 (豊橋技科大)

[概要] SIMD 型超並列計算機 SM-1 上で稼働する並列 LISP 処理系 TUPLE で開発中の並列数式処理系。

- (5) 関数プログラムのコンパイラにおける型情報を用いた効率的な共有解析の実現

尾上能之, 金子敬一, 武市正人 (東大)

[概要] 関数プログラムに対する共有解析において, 型情報などを用いて同一性を検出する手間を軽減する。

- (6) プロダクション規制と局所評価関数にもとづく計算モデル CCM による各種のソート法 金田 泰 (RWCP)

[概要] ランダムに動作する評価関数つきプロダクション・システム CCM による各種のソート法を説明する。

- (7) アルゴリズムと映像表現 (予稿集なし)

下野隆生 (長野大)

[概要] 映画やアニメに用いられる反復, 再帰等のアルゴリズムを題材に芸術工学と記号処理の関わりを述べる。

## ◆第91回 人工知能研究会

(発表件数: 8件)

(主査: 石塚 満, 幹事: 沼尾正行, 橋田浩一, 吉田裕之)

日 時 平成 5 年 11 月 24 日 (水) 10: 30~16: 10

会 場 工学院大学 11 階 第 8 会議室 (所在地は前記参照)

## 議 題

—10: 30~12: 00—

- (1) 結合グラフ証明手続きにおける効率的な探索戦略

中嶋卓雄, 國安 治, 中村良三 (熊本大)

[概要] 結合グラフの構造から得た評価関数による効率的な探索戦略を提案する。

- (2) 階層型 GA による協調的探索手法とその UNIX-Network 上での実現

高橋正和, 棟朝雅晴, 高井昌彰, 佐藤義治 (北大)

[概要] 遺伝的操作のパラメータを動的に変化させる階層構造を持つ協調的探索モデルを分散環境に実現する。

- (3) 遺伝アルゴリズムの分散制御型動的ルーティングへの応用

日高東潮, 高井昌彰, 佐藤義治 (北大)

[概要] 遺伝子重複を押えて探索効率を高めた GA を用いてネットワークルーティングの分散制御を実現する。

—13: 00~14: 20—

- (4) IJCAI 93 報告

橋田浩一, 松原 仁 (電総研), 大沢英一, 長尾 確 (ソニー CSL)

- (5) AAAI 93 報告

杉浦 淳 (NEC), 春野雅彦 (NTT), 中荃洋一郎, 麻生川稔 (NEC)

—14: 40~16: 10—

- (6) 囲碁における盤面状況の認知

吉川 厚, 斉藤康己 (NTT)

[概要] プロトコル分析から得た対戦者が次手を決めるに際して使用している情報に対する知見を報告する。

- (7) 囲碁プログラムを強くするにはどうしたらよいか?

斉藤康己, 吉川 厚 (NTT)

[概要] 既存の囲碁プログラムの分析と多面的プロトコル解析の結果から強い囲碁プログラムを作る方略を考える。

- (8) 時変目的協調推論技術の開発と列車運転整理 AI システムにおける実用化

鶴田節夫, 江口俊宏, 大島俊哉, 酒井憲一 (日立)

[概要] 目的を動的生成し, 分割・協調して問題を解く推論技術を開発, 列車乱れ回復 AI システムを実用化。

## ◆第36回 アルゴリズム研究会

(発表件数: 12件)

(主査: 五十嵐善英, 幹事: 浅野哲夫, 白石洋一, 平田富夫)

日 時 平成 5 年 11 月 25 日 (木) 9: 00~17: 30

会 場 大阪電気通信大学 図書館 小ホール

[寝屋川市初町 18-8, 大阪より地下鉄: 淀屋橋または京橋下車, 京阪: 寝屋川市下車 (準急・急行で約 20 分), 徒歩約 10 分 (早子商店街経由), Tel.(0720)24-1131 (代表) ]

## 議 題

-9:00~12:10-

- (1) 根がなく巡回的順序がある木の間の距離とその計算法 劉 紹明, 田中栄一, 増田澄男 (神戸大)  
[概要] 平面に埋め込まれた木の間の距離を定義し, その計算法を示した。
- (2) Structure of  $\lambda+1$ -cuts in multigraphs

Kazuhiro Nishimura, Hiroshi Nagamochi, Toshihide Ibaraki (京大)

[概要] 辺連結度  $\lambda$  が 4 以上の偶数のとき, 大きさ  $\lambda+1$  のカットの総数は点数の 2 乗のオーダーである。

- (3) リングネットワークにおける一様な自己安定  $k$ -相互排除システム 角川裕次, 山下雅史 (広島大)

[概要] 一過性の故障が生じて, 再び自動的に安定な状態になる分散アルゴリズムを提案する。

- (4) A Shortest Path Algorithm for Banded Matrices by a Mesh-Connected Processor Array

Aohan Mei, Yoshihide Igarashi (群馬大)

[概要] 対角線帯状行列で表される最短経路問題を網状結合プロセッサアレイで解くアルゴリズムを与える。

-13:10~17:30-

- (5) An  $O(n \log \log n)$  Time Algorithm for Constructing a  $k$ -Connected Graph with Prescribed Degrees

浅野孝夫 (中央大)

[概要] 与えられた  $k$ -連結次数列を実現するグラフを  $O(n \log \log n)$  の手間で構成するアルゴリズム。

- (6) 茨大型ライフゲーム 加納幹雄, 佐々木哲也, 藤田宏明, 星 誠司 (茨城大)

[概要] 新型ライフゲームを提案する。元のゲームとは違う動きをする興味深いものである。

- (7) Gossiping in Mesh-Bus Computers by Packets with Bounded Length 藤田 聡 (広島大)

[概要] メッシュバス計算機上で効率的に情報交換をするアルゴリズムを提案する。

- (8) 二変数整数計画問題の幾何学的解法 吉原貴仁 (東工大)

[概要] 従来の解法に多い座標変換の繰り返しを用いることなく, 解を求めるアルゴリズムを提案する。

- (9) 双線形計画による問題複雑度の分類 萩原 斉, 中森真理雄 (農工大)

[概要] 各種の困難な問題を双線形計画問題として記述し, 可能解存在判定と最適化の複雑さの違いを示す。

- (10) 線形計画問題としての整列 中森真理雄 (農工大)

[概要] 整列 (ソート) や探索 (サーチ) を線形計画問題として解釈し, 問題の複雑さを論ずる。

- (11) 三角形族の中での直交探索 徳山 豪 (日本 IBM)

[概要]  $d$  次元空間内の  $n$  個の三角形に対して探索直方体と交わる三角形の列挙のための効率的なデータ構造を作る。

- (12) FCRC (Federated Computing Research Conference) 報告 (予稿集なし) 徳山 豪 (日本 IBM)

[概要] 合同学会 FCRC の模様を, ACM STOC と Comp. Geometry Symposium を中心に報告する。

\*翌日 (26 日) には電子情報通信学会 (コンピュータ研究会) が同会場にて開催されます。また, アルゴリズム研究会終了後, 合同で懇親会を予定しておりますので, 奮ってご参加ください。

## ◆第20回 人文科学とコンピュータ研究会

(発表件数: 7件)

(主査: 及川昭文, 幹事: 竹内 健, 長瀬真理, 八村広三郎)

日 時 平成 5 年 11 月 26 日 (金) 10:00~17:10

会 場 岡山大学 工学部 情報工学科 3 階 共同研究室

[岡山市津島中 3-1-1, JR: 岡山下車, バス: 駅前バスターミナル 1 番乗場 17 番バス (岡山大学, 妙善寺行) 岡大東門下車 (約 20 分) . Tel.(086)252-1111 (ext.8178) 浅田]

## 議 題

-10:00~12:00-

## ●一般発表

- (1) 心理学分野でのコンピュータ支援学習システムの導入 -CTP システムの構成-

河村 敦, 井原 零 (作陽短大), 林 春男, 坂田省吾 (広島大)

石原茂和 (尾道短大), 畑本恵子 (広島中央女子短大), 山上 暁 (甲南女子大)

[概要] CTP システムは, 心理学での個別学習・一斉学習・豊富な実験を可能にする CAI システムである。

- (2) 絵画解説文の感性・空間的情報の解析 渡辺靖彦 (京大), 中村裕一 (筑波大), 長尾 真 (京大)

[概要] 絵画の解説文に記述されている情報を分類し, 名詞・動詞の意味分類を用いてそれらを抽出した。

## ●小特集: 画像データ処理

- (3) 画像データの収集利用方式の開発 星野 聡 (京大)

[概要] センサーを用いて頭出しを行うビデオ映像の入力と利用方式で, 研究者向きで経済的なシステム開発。

## -13: 30~17: 10-

- (4) 群衆の映像における人数の自動計測 芝脇岳雄, 小畑正貴, 塩野 充 (岡山理科大)  
 [概要] 観測エリア上方にカメラを設置し, それより得た複数の画像から人の移動をもとにした人数計測を行う。
- (5) 民博コスチュームデータベース 八村広三郎 (京大), 高橋晴子 (大阪樟蔭女子大), 久保正敏 (京大), 杉田繁治, 大丸 弘 (民博)  
 [概要] 民博で開発中の, 服装関連マルチメディアデータベースの構想とプロトタイプシステムについて報告する。
- (6) 浮世絵合成システム PICS の構成 小沢一雅 (大阪電通大)  
 [概要] 実際の浮世絵 (風景画) から切り出した絵画要素を自由に組み合わせて浮世絵を合成するシステム。
- (7) 伝「探幽筆三拾六歌仙」の画像データベース化と原本復元 伊藤鉄也 (大阪明浄女子短大)  
 [概要] 新資料の歌仙絵 (下絵画帖) の書き込みをもとにして, コンピュータを活用した原本の復元を試みる。
- (8) デモンストレーション: 画像処理関係 情報工学科・松山研究室 (16: 40~17: 10)

## ◆第30回 コンピュータと教育研究会

(発表件数: 6件)

(主査: 一松 信, 幹事: 三好和憲, 矢野米雄, 吉田瑞穂)

日 時 平成5年11月26日(金) 13: 00~17: 20

会 場 工学院大学 11階 第8会議室 (所在地は前記参照)

議 題 テーマ: 遠隔教育とネットワーク技術

- (1) コンピュータ支援による遠隔協調学習におけるメディアのもたらす学習効果 相曾益雄 (創価大), サンガ・ンゴイ・カサディ (三重大)  
 [概要] 外国語教育で米国の大学生と遠隔学習を行った経験などからメディアの学習者への影響について述べる。
- (2) 衛星通信を利用した情報処理教育例 宮副英彦 (日立)  
 [概要] 導入の目的, システムの概要, 利用状況について日立製作所の事例を紹介する。
- (3) 三菱電機の衛星教育システム 柏木淳夫 (三菱電機)  
 [概要] 当社衛星教育の構築目的, 教育内容, 利用状況およびシステムの特色について述べる。
- (4) NESPACによる上流工程 SE 教育の展開 ーサテライトビジネスカレッジ・システムズコンサルティングコースー 大竹康夫 (NEC 総合経営研修所), 折出光男 (NEC)  
 [概要] 紹介事例コースのコンセプト, カリキュラム, 教育方法等について概要を報告する。
- (5) 21世紀に向けての SE 像 (産構審の答申より) 江村潤朗 (CAIT)  
 [概要] 先般, 答申が出された産構審の報告を基に 21世紀の SE のあり方を探る。
- (6) システムインテグレータに求められる人材像と育成方策 財部忠夫 (川鉄システム開発)  
 [概要] システムインテグレータに求められる人材像 (必要知識/技術) と人材育成方策について。

## ◆第95回 ソフトウェア工学研究会

(発表件数: 8件)

(主査: 磯田定宏, 幹事: 青山幹雄, 大蒔和仁, 深澤良彰)

日 時 平成5年11月30日(火) 9: 30~17: 00

会 場 東京工業大学 南3号館 2階 電気情報系会議室

[東京都目黒区大岡山 2-12-1, 東急大井町線: 大岡山下車, Tel.(03)3726-1111]

議 題 特集: 知的 CASE および一般

## -9: 30~11: 45-

- (1) クラスタ解析に基づくプログラム構造の抽出 小田利彦 (リコー)  
 [概要] モジュール内の外部参照に関する情報隠蔽の効果に基づく距離を用いてクラスタ解析を行う。
- (2) 協調活動のフレームワークとしてのプロセス指向アプローチ ー問題解決型研究開発における spiral up の考察ー 江谷典子 (富士ゼロックス)  
 [概要] 協調的問題解決を著者らのグループが行い, その行動と情報の利用形態から向上のあり方を考察する。
- (3) 制限自然言語によるソフトウェア要求記述とその解析 原林利幸, 河合敦夫, 椎野 努 (三重大), 武内 惇 (日大)  
 [概要] 記述ができるだけ稚拙, 冗長にならず, かつ全文解析可能とするための自然言語制限方式とその処理系。

## -13: 00~17: 00-

- (4) 管理者と作業員間の作業誘導を支援するソフトウェア工程管理システム 樋山淳雄, 古宮誠一 (IPA)  
 [概要] ソフトウェア工程管理における作業誘導の枠組とそのプロトタイプシステムについて述べる。

- (5) ソフトウェアの誤りと除法の評価 (Industrial Software Engineering の立場から) 河野善弥 (埼玉大)  
 [概要] ソフトウェアの不良は人の誤りが主である。人間の信頼性を考え、発生や対策の定量評価を行う。
- (6) オブジェクトの集团的振舞いの設計 中島 震 (NEC)  
 [概要] システム全体の振舞いから構成オブジェクトを設計するオブジェクト指向開発方法論について述べる。
- (7) オブジェクト指向概念の発生学的定義に基づく設計技法 中所武司 (明大)  
 [概要] 分散環境下での動的振舞いを重視したオブジェクト指向設計法を提案する。
- (8) オブジェクト・モデルを用いた業務分析に基づく要求獲得の試み 斉藤康彦, 本位田真一 (IPA)  
 [概要] 混沌とした問題領域にパターンとしての要求を形成していく機構を図書館システムの分析に適用する。
- \* 今回の研究会は電子情報通信学会 (知能ソフトウェア工学研究会) との共催で開催されます。

◆第11回 テクニカルコミュニケーション研究グループ研究会

(発表件数: 2件)

(主査: 山田尚勇, 幹事: 牛島和夫, 空閑茂起, 福島敏高)

日時 平成5年11月9日(火) 13:30~17:00

会場 機械振興会館 地下3階 研修2号室

[東京都港区芝公園3-5-8, 地下鉄: 日比谷線神谷町, 浅草線大門, 三田線御成門下車, または JR: 浜松町下車, バス: 渋谷-東京タワー線東京タワー, 渋谷-東京駅八重洲線虎ノ門5丁目下車, Tel.(03)3434-8211]

議題

- (1) マルチメディア応用独習型電子マニュアルシステム 芳賀博英 (日立)
- (2) フルテキストインデックスの手法について 柿本俊博 (富士通研)

参加費 年間登録者: 3,000円/3回分, 未登録者: 2,000円

問合せ先 福島, 杉田 (富士通) Tel.(044)754-2660 Fax.(044)754-2662

◆第3回 ドメイン分析/モデリング研究グループ研究会

(発表件数: 3件)

(主査: 伊藤 潔, 幹事: 伊藤光恭, 杵嶋修三, 佐伯元司)

日時 平成5年11月25日(木) 13:00~17:00

会場 工学院大学 11階 第7会議室 (所在地は前記参照)

議題

- (1) オブジェクト指向による生産管理ドメインのモデル化と考察 中山裕子 (富士通研)
- (2) 新聞の発送統合管理における対象領域のモデル化とシステムの仕様化 大槻 繁 (日立)
- (3) 未定

問合せ先 伊藤 潔 (上智大) Tel.(03)3238-4143 Fax.(03)3238-3885

e-mail: itohkiyo@hoffman. cc. sophia. ac. jp

◆ソフトウェア工学研究会

◆プログラミング-言語・基礎・実践-研究会

連続開催研究会 発表論文募集

日程 平成6年1月20日(木)・21日(金)

会場 鹿児島大学 工学部

議題 特集: ソフトウェア開発環境

できるだけ特集テーマに関係する発表を募集いたしますが、このテーマにこだわらない投稿も受け付けます。多数の発表申込みが予想されますので、早めにお申込みください。

●パネル討論: オブジェクト指向は本当に役に立っているのか

—ソフトウェア工学の立場およびソフトウェア科学の立場から—

発表申込締切 平成5年11月5日(金) (締切厳守) (原稿提出締切: 平成5年12月27日(月) (締切厳守))

問合せ先 ●SE: 大蒔和仁 (電総研) Tel.(0298)58-5885 Fax.(0298)52-0865  
e-mail: ohmaki@etl.go.jp

●PRG: 小野寺民也 (日本IBM) Tel.(0462)73-4645 Fax.(0462)74-4282  
e-mail: onodera@trl.ibm.co.jp



## ◆人工知能研究会

## 発表論文募集

日 程 平成6年3月8日(火)  
 会 場 工学院大学  
 議 題 特集：遺伝アルゴリズム(GA)と人工生命(A-LIFE)  
 発表申込締切 平成5年12月24日(金)

\*研究会に発表申込希望者は開催日の3ヶ月前までに研究会発表申込書(本欄末添付)を事務局研究会担当までご送付ください。

## ◆ドメイン分析/モデリング研究グループ

下記のとおりドメイン分析・モデリングやシステム開発事例等に関する発表を募集いたします。

日 程 平成6年3月8日(火)  
 会 場 東京  
 発表申込締切 平成5年12月20日(月)  
 問合せ先 伊藤 潔(前記参照)

## 平成5年度各種行事予定

10月以降の主な行事予定は以下のとおりです。詳細は順次本欄にてお知らせします。なお、期日・会場が変更されることもありますので、ご注意ください。

(行 事)	(期 日)	(会 場)
第48回全国大会	平成6年3・23(水)～26(金)	東京理科大学
~~~~~		
(シンポジウム)		
コンピュータシステム	10・20(水)～21(木)	工学院大学
マルチメディア通信と分散処理ワークショップ	11・17(水)～19(金)	山形大学
知識のリフォーメーション'93	11・25(木)～26(金)	東京工業大学
アドバンスト・データベース・システム	12・2(木)～3(金)	工学院大学
初等中等教育における計算機教育	12・7(火)～9(木)	工学院大学
第35回プログラミング・シンポジウム	平成6年1・11(火)～13(木)	ホテル小涌園(箱根)
(連続セミナー)		
情報家電の将来性(第4回)	11・18(木)	工学院大学
ヒューマニティ時代への布石(第5回)	平成6年1・20(木)	工学院大学
情報セキュリティ(第6回)	平成6年3・17(木)	工学院大学
(講習会)		
アドバンスト・データベース・システム	12・1(水)	工学院大学
講演会(教育)	12・16(木)	工学院大学
(共 催)		
第24回画像工学コンファレンス	12・8(水)～10(金)	ABC会館
情報学シンポジウム	平成6年1・12(水)～13(木)	日本学術会議講堂

ソフトウェア工学研究会



「ソフトウェア工学小規模国際会議'93」について  
Joint Conference on Software Engineering '93 (JCSE'93)



ソフトウェア工学研究会では、下記の要領で小規模国際会議を開催致します。多数の方々の参加をお待ちしております。参加申し込みの詳細は前号(9月号)会告欄をご覧ください。

記

日程 1993年11月17日(水) - 19日(金)

場所 福岡リーセントホテル (812 福岡市東区箱崎 2-52-1 Tel.(092) 641-7741)

交通 地下鉄箱崎線箱崎宮前駅(3番出口)より徒歩5分

問合せ/参加申込み先

812 福岡市東区箱崎 6-10-1 九州大学情報処理教育センター 下園 幸一  
Tel. (092) 641-1101 (ext.2652) Fax. (092) 641-4047  
E-Mail : simozono@ec.kyushu-u.ac.jp

プログラム

11月17日(水)

10:00 **Opening Remarks**

Welcoming Address : Ken-ichi Harada (Keio University), Kyung Whan Lee (Chung-Ang University)  
Invited Talk

*Integrating Formal Methods with Object-Oriented Software Engineering*  
Roger Duke (University of Queensland)

11:30 **Lunch (Not Provided)**

13:00 **Parallel Session 1A : Programming Environment I**

*Type Checking Slicing Supports Programmers to Correct Type Errors*

Hiroshi Maruyama (NEC Software), Keiji Araki (Kyushu University)

*Test Path Determination for Regression Testing*

Taewoong Jeon (Goldstar Industrial Systems), Anneliese von Mayrhauser (Colorado State University)

*SOL/SQL : the Language of the Set Oriented Language(SOL) and SQL*

Akinori Okade, Yasuhiro Shigematsu, Masahiko Iwane (Kyushu Institute of Technology)

*An Evaluation Model for Integrated Programming Support Tool*

Euseob Shin, Byoung Kwon Min (Korea Telecom), Choon Yeul Lee (Kookmin University)

**Parallel Session 1B : Object-Oriented Technique**

*Object-Oriented Rule-Based Software Engineering*

Danny C. C. Poo (National University of Singapore)

*How Object-Oriented Modeling Technique fit to Business Systems Domain*

Izumi Murakami, Senji Ohkawa, Masao Matsumoto (NEC Corp.)

*An Object Oriented Design Method for Real-Time Ada Software*

Kiwon Chong (Soongsil University)

*Design of an Object-Oriented Concurrent Programming Language y*

Kazuhiro Kojima, Masami Noro (Nanzan University)

**Parallel Session 1C : User Interface**

*A Semantic Directed Editor on PCTE*

Naruki Mitsuda, Tsuneo Ajisaka, Yoshihiro Matsumoto (Kyoto University)

*The GUI Builder to Support Software Reuse System*

Sang Geun Kim (Chung-Ang University), Chan Ki Hong (Kwan-Dong University),

Kyung Whan Lee (Chung-Ang University)

*A Methodology to Build Active Help System*

Ryu-ichiro Ohyama, Yoshikazu Yamamoto (Keio University)

*A Modeling Technique for X-window Application Software Development*

Joonseok Lee, Sangbum Lee, Donghae Chi (ETRI)

15:00 **Break**15:20 **Parallel Session 2A : Programming Environment II***Embryo : A Tool for Producing Program Generators*

Nobuaki Tanaka (Matsushita Co. Ltd.)

*On Generating Code for New Classes in Two-dimensional Animation*

Mariko Sasakura, Alice Salpeter, Kenzo Iwama (ASTEM)

*Gaea : A Toolkit for Construction of Programming Environment*

Yuji Wada (Fujitsu Laboratories Ltd.)

**Parallel Session 2B : Requirements Engineering***A Model for the Modification of Software Development Effort according to Requirement Change*

Young Bok Kim (Daelim Industrial Co. Ltd.), Sung Yul Rhew, Chul Hee Lee (Soongsil University)

*Software Requirements Languages Based on Requirements Frame Model*

Atsushi Ohnishi (Kyoto University)

*Requirement Specification and Simulation System for Real-Time Distributed System*

Moon Hae Kim (Konkuk University), Seung-Min Yang (Soongsil University)

**Parallel Session 2C : Computer Supported Cooperative Work***A Group Editor with Existing Graphics Editors : An Extension to GEE*

Kouichi Utsumiya, Hiroshi Sato, Kazuyuki Yoshida (Oita University)

*Communication Analysis of Argument Structure-based Collaborative Design*

Yuko Onoe, Eiji Kuwana (NTT)

*Usage Pattern Analysis in Organizational Information Sharing*

Yoshiaki Seki, Toshihiko Yamakami, Akihiko Shimizu (NTT)

16:50 **Break**18:00 **Reception**

11月18日(木)

9:00 **Parallel Session 3A : Concurrency & Real-Time System***Development of a Real-Time Statistical Process Control in the WatchMan System*

Heon Guil Lee (Samsung Electronics), Young Kwang Nam (SERI/KIST),

Seon Tae Kim (Samsung SAIT), Jin Ho Kim (Kang-won National University)

*A General Interface for Two-level Processor Scheduler on Multiprogrammed Multiprocessors and Its Performance*

Hisaki Kai, Ryouyuke Fujiki, Akira Fukuda (Kyushu University)

*A Scheme for Organization of System Servers in Microkernel-based Operating Systems and Its Performance*

Masayuki Kuwayama, Keizo Saisho, Akira Fukuda (Kyushu University)

**Parallel Session 3B : Specification***Application of Slicing Technique to Formal Specifications*

Tomohiro Oda, Keijiro Araki (Kyushu University)

*Formal Specification Methods of Message Passing in Distributed Object-Oriented Systems*

Sangbum Lee, Donghae Chi (ETRI)

*Process Composition and Interleave Reduction in Parallel Process Specification*

Makoto Tsujigado, Teruo Hikita, Jun Ginbayashi (Meiji University)

**Parallel Session 3C : Software Metrics***Yet Another Complexity Metrics for Concurrent Programs Based on Entropy Theory*

Shin Cha, In Sang Chung, Yong Rae Kwon (KAIST)

*Measuring Complexity of Distributed Software Based on Unified Representations of Various Programs*

Jingde Cheng (Kyushu University)

*Quantitative Analysis of C++ Classes Complexity*

Cheol-Jung Yoo (Kijeon Women's Junior College),

Yong-Sung Kim, Ok-Bae Chang (Chonbuk National University)

10:30 **Break**10:50 **Parallel Session 4A : Software Process***Software Process Modeling using Functional Language Miranda*

Saeko Matsuura, Shin-ichi Hon-iden (IPA)

*Quality Directed Process Management in a System Integration Project*

Dan Hyung Lee, Jin Ok Jeon, Eon Suk Shin (SERI/KIST)

*How to Implant Software Process Description Processes into Actual Project Management Activities*

Kagetomo Genji, Michitoshi Ishikawa (Sakura KCS Corp.), Takeshi Ogihara, Koji Torii (AIST,Nara)

**Parallel Session 4B : Design**

*Software Creation : A Software Engineering Aspect*

Zenya Koono, Homayoun Far Behrouz, Takeshi Baba, Yasukiyo Yamasaki,  
Mari Ohmori (Saitama University)

*Software Creation : Reproducing Human Cognitive Processes in Automatic Software Design*

Homayoun Far Behrouz, Takeshi Takizawa, Zenya Koono (Saitama University)

*Asdreus : Architecture for the Specification and Design of REActive Systems*

Shuzo Kishima (Yamatake-Honeywell), Kiyoshi Itoh (Sophia University)

**Parallel Session 4C : Reverse Engineering**

*An Approach to Restructuring Software Modules through Program Slicing*

Hyeon Soo Kim, In Sang Chung, Yong Rae Kwon (KAIST)

*A Task Dependence Net Generator for Concurrent Ada Programs*

Yoshiaki Kasahara, Jingde Cheng, Kazuo Ushijima (Kyushu University)

*Information Abstracting Method for Supporting Maintenance of X Application System*

Myeongjae Yi, Chisu Wu (Seoul National University)

12:20 **Lunch (Not Provided)**

13:50 **Parallel Session 5A : Development Paradigm**

*A Case Study on Conceptual and Formal Modeling of Software*

Masaaki Hashimoto, Toyohiro Hirota (Kyushu Institute of Technology)

*On Software Engineering Technological Structure for System Integration*

Yoshihiro Akiyama (IBM Japan Ltd.)

**Parallel Session 5B : CASE**

*Development of CASE on the Basis of Program Design by Means of a "Software Bus"*

Osamu Ohno, Yosuke Morioka (Hitachi Ltd.)

*A Technique of Building the Repository for CASE Tools*

Byeongdo Kang, Chisu Wu (Seoul National University)

*Repetitive Optimum Dividing System (RODS)*

Toshio Yamashita, Atsuyuki Haruki, Kouichi Ishii, Minoru Matsuyama  
(Musashi Institute of Technology)

**Parallel Session 5C : Reuse**

*Search Process of a Reuse Support System based on Attributes*

Hyuksoo Han (Sang-Myoung Women's University)

*A Reusability Framework for Reengineering*

Stan Jarzabek (National University of Singapore)

*Feature-Oriented Domain Analysis for Software Reuse*

Kyo-Chul Kang (Pohang Institute of Science and Technology)

15:20 **Break**

15:50 **Panel Session : Future Software Engineering – Practices and R&D in Asia Pacific –**

Coordinator : Yoshihiro Akiyama (IBM Japan Ltd.)

Panelists :

Kazuo Ushijima (Kyushu University)

Yong Rae Kwon (KAIST)

Karl Reed (La Trobe University),

Vincent Shen (The Hong Kong University of Science and Technology)

Danny Poo (National University of Singapore)

17:50 **Closing Remarks:** Sadahiro Isoda (NTT)

18:00 **Break**

19:00 **Victory Party (Invitation Only)**

**Technical Session Program**

11月19日(金)

We plan to go Kitakyushu City and around some places (e.g. a factory of Nippon Steel and Yasukawa Electric).

# 大学等における一般情報処理教育の在り方に関する調査研究報告書 頒布のお知らせ

本学会では、平成4年度文部省高等教育局から標記の調査研究の委嘱を受け、大学、高専、短大などにおける一般情報処理教育について、目次概要に示す調査研究報告書を提出しました。

## 目次

- 1. 概要
  - 2. 調査研究の目的
  - 3. 一般情報処理教育の教育理念
  - 4. 一般情報処理教育カリキュラム
  - 5. 一般情報処理教育の教育環境
- 付録 A. 講義例 B. 科目構成例 C. 教科書・参考書 D. 文献

本報告書を下記によりお分けいたします。

申込書（1枚1人使用のこと）を郵便、またはFaxにて申込先あてお送りください。

頒布価格 2,500円（送料，消費税込）

申込・問合せ先 160 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル 27階  
(社)情報処理学会 研究会係 Tel.(03)5322-3535 Fax.(03)5322-3534

## ..... 申 込 書 .....

大学等における一般情報処理教育の在り方に関する調査研究報告書（一般）

申込者氏名 フリガナ \_\_\_\_\_ 会員番号 \_\_\_\_\_

連絡先所属 \_\_\_\_\_ Tel. \_\_\_\_\_ - \_\_\_\_\_ Fax. \_\_\_\_\_ - \_\_\_\_\_

*住所	〒 _____	希望部数 _____ 部
*所属	_____	請求書 _____ 通 見積書 _____ 通 納品書 _____ 通
*氏名	_____ 殿	請求宛名 _____ ←送本用宛名ラベルに使用の為、 楷書にてご記入ください

送金方法（該当欄に✓印願います） \* 名義人 東京都新宿区西新宿 1-24-1 (社)情報処理学会

- 現金書留  郵便振替（東京 5-83484）  持参
- 銀行振込（いずれも普通預金口座）  
第一勧業銀行新宿西口支店 2049562 ・ 三菱銀行虎ノ門公務部 0000608

・振込銀行名 \_\_\_\_\_ ・送金人氏名 \_\_\_\_\_

・送金に関する問合せ先 担当者 \_\_\_\_\_ Tel. \_\_\_\_\_ - \_\_\_\_\_



## 情報処理学会 第48回 全国大会実施要領

### 全国大会講演論文集原稿について

——より早く、より良い論文集をつくるために——

第47回全国大会（平成5年後期）からA4判の講演論文原稿用紙に変更いたしました。B4判原稿用紙は手書き時代のマス目のもので、ワープロが普及した現在では、かえって使い勝手の悪いものになっております。

収容文字数が多少少なくなる等の問題はありますが、会員の皆さまの便宜にかなわない、ご希望に添うものでありますので、何卒ご協力をよろしくお願いいたします。

講演発表希望者は、実施要領を熟読のうえ、日程に従って所定の手続きを進めてください。

講演申込書締切日の厳守を徹底しますので、申込書等の提出は必ず期日までにお出しください。一日でも遅れると発表できなくなりますので、特にご注意願います。

**開催期日** 平成6年3月23日（水）～25日（金）

**会場** 東京理科大学理工学部（野田市山崎）

**日程一覧** 1. 講演申込書の送付

学会誌本号（Vol. 34, No. 10）掲載の講演申込書に記入して、応募規程IV. の申込方法により平成6年11月30日（火）（必着）までにお送りください。なお11月30日に持参する方は、エステック情報ビル27階情報処理学会第一会議室にて受付けています。締切に遅れますと発表できなくなりますので、特にご注意ください。

なお、プログラム編成が終わり講演番号が決定しますと、発表セッション等の変更はできません。論文の該当分野は十分ご確認してお申込みください。

2. プログラム編成委員会の開催

講演申込書を締切り次第、大会プログラムの編成および座長候補の推薦を行います。

3. 登録原稿等の送付

12月中旬に事務局から「登録原稿」等をお送りいたします。講演番号も同時に通知いたしますので発表日時をご確認ください。

4. 講演論文等の提出

講演論文原稿および登録原稿等を一括して1月24日（月）（必着）までにご提出ください。

5. 大会プログラムを学会誌2月号（Vol. 35, No. 2）に掲載いたします。発表者は特にご注意ください。

### 応募規程

#### I. 講演内容

1. 全国大会にふさわしい内容を備えたものとします。
2. 発表は日本語または英語とします。

#### II. 応募資格

1. 登壇発表者は申込時に情報処理学会個人会員であること。
2. 共同発表者は当学会個人会員であることが望ましい。
3. 平成5年度会費未納の会員は発表できません。
4. 電気、電子情報通信、照明、テレビジョン各学会会員は当学会会員と同様の取り扱いとします。ただし、奨励賞の表彰対象者にはなれません。

#### III. 講演論文該当分野

##### 1. 情報科学一般

###### A. 一般

- a. 哲学, b. 歴史, c. 伝記, d. その他

###### B. 社会

- a. 規格, b. 標準化, c. 知的所有権, d. 社会問題, e. その他

- C. 教育
  - a. 情報科学・工学の教育, b. カリキュラム, c. コンピュータリテラシ, d. CAI, e. 教育工学, f. その他
- 2. 基礎理論及び基礎技術
  - A. 情報数学
    - a. 形式理論, b. オートマトン理論, c. 形式言語理論, d. 計算可能性の理論, e. 計算の複雑さ, f アルゴリズム論, g. グラフ理論, h. 組合せ理論, i. ファジィ理論, j. 符号理論, k. 整数論, l. その他
  - B. 情報理論及びOR
    - a. 情報理論, b. 線形・非線形計画法, c. 動的計画法, d. 整数計画法, e. ゲーム理論, f. 待ち行列理論, g. その他
  - C. データ解析
    - a. 推定・検定, b. 確率モデル, c. 統計・確率計算, d. 多変量解析, e. その他
  - D. 数値計算
    - a. 誤差解析, b. 関数近似, c. 補間, d. 線形計算, e. 非線形方程式, f. 数値微積分, g. 常微分方程式, h. 偏微分方程式, i. 積分方程式, j. 極値問題, k. 最適化, l. 特殊関数, m. 数式処理, n. 乱数, o. その他
  - E. シミュレーション
    - a. 有限要素法, b. 境界要素法, c. 差分法, d. モンテカルロ法, e. その他
- 3. 人工知能及び認知科学
  - A. 基礎理論
    - a. 探索, b. 定理自動証明, c. 推論方式, d. 知識表現, e. 知識獲得, f. 非単調理論, g. 学習理論, h. コネクショニズム, i. その他
  - B. 人工知能システム
    - a. エキスパートシステム, b. ガイダンスシステム, c. エキスパートシステム作成支援ツール, d. ゲームプログラム, e. 演繹データベース, f. 知能ロボット, g. その他
  - C. 自然言語処理
    - a. 機械翻訳, b. 自然言語インタフェース, c. 対話システム, d. 形態素解析, e. 構文解析, f. 意味解析, g. 文生成, h. 談話理解, i. 文法, j. 辞書, k. その他
  - D. パターン認識
    - a. 音声認識, b. 話者識別, c. 画像理解, d. 物体認識, e. 文字認識, f. リモートセンシング, g. その他
  - E. 生体情報処理
    - a. 視覚, b. 聴覚, c. 神経モデル, d. ニューラルネットワーク, e. その他
  - F. 感性情報処理
    - a. 心理モデル, b. 行動モデル, c. 感情モデル, d. その他
- 4. データ処理
  - A. 音声処理
    - a. 音声分析, b. 音声合成, c. その他
  - B. 画像・図形処理
    - a. 画質改善, b. 帯域圧縮, c. 符号化, d. 曲面合成, e. トモグラフィ, f. 3次元処理, g. グラフィックス, h. アニメーション, i. その他
  - C. テキスト処理
    - a. ワードプロセッシング, b. 日本語入出力, c. 文書処理, d. 卓上出版, e. フォントデザイン, f. その他
  - D. マルチメディア処理
- 5. ソフトウェア
  - A. 基礎理論
    - a. プログラム理論, b. オペレーティングシステム理論, c. データベース理論, d. 形式的意味論, e. 算法論理, f. 検証理論, g. カテゴリ理論, h. 属性文法, i. 計算パラダイム, j. プログラム合成・変換, k. その他



- B. プログラム言語及び仕様記述言語  
 a. 手続き型言語, b. 論理型言語, c. 関数型言語, d. オブジェクト指向言語, e. 並列処理言語, f. システム記述言語, g. 数式処理言語, h. シミュレーション言語, i. 仕様記述言語, j. その他
- C. 言語処理系  
 a. 構文解析, b. コード生成, c. 最適化, d. コンパイラ, e. インタプリタ, f. その他
- D. ツール  
 a. エディタ, b. デバッガ, c. ベリファイヤ, d. コンパイラジェネレータ, e. ウィンドウシステム, f. その他
- E. オペレーティングシステム  
 a. 記憶管理, b. 入出力管理, c. 障害管理, d. 通信管理, e. ファイル管理, f. ジョブ・タスク管理, g. 自動運転管理, h. 並列分散処理, i. 例外処理, j. 性能評価, k. その他
- F. データベース・情報検索  
 a. データモデル, b. データ言語, c. データベース設計, d. 質問処理, e. トランザクション処理, f. 一貫性制約, g. ファイル構成, h. 検索方式, i. 分散データベース, j. マルチメディアデータベース, k. その他
- G. プログラミング技術  
 a. データ構造, b. ガーベジコレクション, c. ハッシング, d. ソーティング, e. サーチング, f. その他
6. ソフトウェア工学
- A. 開発技術  
 a. 設計理論, b. 要求分析法, c. 仕様記述法, d. プログラミング方法論, e. プロトタイピング, f. 部品化・再利用技術, g. プログラム自動構成, h. その他
- B. テスト・保守  
 a. プログラムのテスト・デバッグ, b. プログラム検証, c. 性能評価, d. プログラム解析, e. 保守運用管理, f. その他
- C. ソフトウェアプロセス  
 a. プロセスモデル, b. プロセスプログラミング, c. 工程管理, d. その他
- D. 開発環境  
 a. 構成理論, b. 分散開発環境, c. 文書化支援, d. その他
- E. ヒューマンファクタ  
 a. マン・マシンインタフェース, b. 要員教育・プロジェクト管理, c. プログラミング行動, d. その他
7. ハードウェア
- A. 基礎理論  
 a. 組合せ回路理論, b. 順序回路理論, c. 論理設計理論, d. レイアウトアルゴリズム, e. ハードウェアアルゴリズム, f. その他
- B. 論理回路  
 a. 記憶回路, b. 演算回路, c. 制御回路, d. 誤り検出・訂正回路, e. テスト容易化回路, f. その他
- C. デバイス  
 a. 論理デバイス, b. 記憶デバイス, c. 入出力デバイス, d. ASIC PLD, e. その他
- D. アーキテクチャ  
 a. 汎用計算機, b. 専用計算機, c. スーパーコンピュータ, d. ワークステーション, e. 高級言語マシン, f. 非ノイマンアーキテクチャ, g. 並列アーキテクチャ, h. マイクロプログラム, i. フォールトトレランス, j. その他
- E. 周辺, 端末  
 a. 外部記憶, b. ディスプレイ装置, c. ハードコピー装置, d. 文字読取装置, e. 図形入出力装置, f. 音声入出力装置, g. その他
- F. 設計技術及び設計自動化  
 a. 方式設計, b. 機能設計, c. 論理設計, d. レイアウト設計, e. テスト設計, f. 設計記

述言語, g. シリコンコンパイラ, h. その他

G. 開発環境

a. 統合化ツール, b. 設計環境, c. 設計データベース, d. その他

H. テスト・検証

a. LSI テスト, b. ハードウェア設計検証, c. 性能評価, d. その他

8. ネットワーク

A. 通信技術

a. データ交換方式, b. 通信方式, c. 画像通信, d. トラヒック理論, e. ネットワークアーキテクチャ, f. プロトコル, g. プロトコル検証, h. その他

B. ネットワーク管理

a. 名前管理, b. 経路管理, c. 障害管理, d. その他

C. コンピュータネットワーク

a. WAN, b. LAN, c. 電子会議, d. 電子掲示板, e. 電子メール, f. 分散処理, g. その他

9. システム

A. 対話型システム

a. 構成理論, b. 方法論, c. CAE, d. CAD, e. CAM, f. CIM, g. CAI, h. 管制システム, i. 訓練システム, j. 意志決定システム, k. オフィスシステム, l. その他

B. オンラインシステム

a. 予約システム, b. バンキングシステム, c. その他

C. 制御システム

a. プロセス制御, b. 数値制御, c. 通信制御, d. 産業用ロボット, e. FA, f. その他

D. システム評価

a. 評価技法, b. 評価指標, c. 評価モデル, d. その他

10. 信頼性と安全性

A. 信頼性

a. 信頼性理論, b. 保全性理論, c. 信頼性評価, d. 故障解析, e. その他

B. 機密保護

a. 暗号理論, b. 認証, c. 鍵管理, d. 鍵配送, e. セキュリティ, f. その他

11. 応用

A. 企業等への応用

a. オフィス, b. 行政, c. 経営, d. 金融, e. 情報サービス, f. 生産管理, g. 計算機センタ運営, h. 教育, i. その他

B. 工学等への応用

a. 航空・宇宙, b. 機械, c. 土木, d. 建築, e. 都市, f. 電気・電子, g. 計測, h. 生物, i. 物理, j. 化学, k. 原子力, l. 輸送・交通, m. 医学・歯学, n. その他

C. 芸術等への応用

a. 音楽, b. 絵画, c. 商業デザイン, d. その他

D. その他への応用

a. 自然科学, b. 社会科学, c. 人文科学, d. 障害者補助, e. その他

IV. 申込方法

1. 本号会告のページ掲載の「全国大会講演申込書」に必要事項を記入して**11月30日(火)**(必着)までに申込むこと。
2. 講演申込は講演申込書および講演参加費を添えて申込むこと。  
なお、連続発表を希望される場合は、別紙にて標題、講演者名および発表順番を明記し、まとめて送付すること。

V. 申込件数

1. 登壇発表は原則として1人1件とします。
2. 2件以上になる場合は、1件ごとに発表料が必要です。また、別紙にて標題、発表分野を明記しまとめて送付すること。

VI. 講演参加費

1. 1件につき、会員は**7,000円**、学生は**4,000円**です。

2. 講演申込書を提出する際、同時に納入してください。なお、納入後、発表申込を取消されても返金できませんのでご注意ください。

#### VII. 論文原稿提出

1. 論文原稿は、平成6年1月24日(月)(必着)までに提出してください。
2. 論文は日本語または英語とします。
3. 論文抄録を「学会発表データベース(第一系)、学術情報センター」に入力しますので、所定の用紙および記入要領に従って記入のうえ論文と一緒に提出してください。なお、著作権は学会と共有です。
4. ワードプロ、タイプで作成した原稿はプリントした原文をお使いください。
5. 論文原稿提出後の訂正は一切取扱いません。よく推敲して提出してください。
6. 論文原稿の返却はいたしません。

#### VIII. 論文の採否

講演論文の採否は大会運営委員会(プログラム編成委員会)が決定する。採択しないものは、例えば次のような場合である。

1. 論文の内容が著しく不十分なもの。
2. 内容が商業宣伝に偏したもの(極端な商品名の引用には注意する)。
3. 同一または類似の発表がなされており、かつ前進がないもの。
4. 応募規程に違反するもの。
5. 提出期限に遅れたもの(次回への応募をお勧めします)。

#### IX. 論文集の配布

発表者には講演論文を含んだ論文集1冊を事前に郵送します。

#### X. 発表論文の別刷はいたしません。

#### XI. 発表当日の講演者心得

1. 講演の始まる前に、必ず自分の発表会場の講演者受付で、出席の確認を受ける。
2. 必ず前の講演者の講演時間中には、座長席の近くに設けられた講演者控え席で待機する。
3. 一般講演の時間は、質疑を含めて15分間とします(都合により13分間のセッションもあります)。講演中でも時間切れで打ち切ります。
4. 講演終了予定時刻の5分間および3分間に座長補佐がベルで合図します。
5. 講演の代理(読)は認めません。

#### XII. 申込先及び問合せ先

(社)情報処理学会 全国大会係

〒160 東京都新宿区西新宿1-24-1 エステック情報ビル27F Tel. (03)5322-3535



## シンポジウム、講習会、全国大会、学会誌、論文誌の残部購入について

開催年月、書名、希望部数、申込者氏名、送付先、電話番号、郵便番号および支払方法を明記し書面にて事務局図書係までお申し込みください。その際には、あらかじめ、電話等で残部の確認をお願いします。

残部状況：全国大会(第40回より)、シンポジウム・講習会(90年版より)、学会誌・論文誌(93年版のみ、92年版以前は文生書院にて購入のこと)

残部資料のないもののコピーサービスに関しましては日本科学技術情報センター(JICST)へお問合せください(有料)。なお、国立国会図書館においても閲覧、コピーすることができます。

- |                |                           |                   |
|----------------|---------------------------|-------------------|
| * 文生書院         | 〒113 東京都文京区本郷 6-16-3 幸伸ビル | Tel.(03)3811-1483 |
| * 日本科学技術情報センター | 〒100 東京都千代田区永田町 2-5-2     | Tel.(03)3581-6411 |
| * 国立国会図書館      | 〒100 東京都千代田区永田町 1-10-1    | Tel.(03)3581-2331 |

第 48 回 全国大会講演参加費送金連絡票

この連絡票は講演参加費の入金を正確に把握するためのものです。下記の点に注意してご記入ください。

1. 1 件につき、会員は 7,000 円、学生は 4,000 円（講演者には参加章・プログラム・論文集 1 冊を事前に発送します。）
2. 講演不採択の場合は、講演参加費は返却しますが、申込後取消の場合は返却しません。
3. 講演参加費は、講演申込書に現金を添えて学会事務局に持参くださるか、あるいは郵便振替を原則とします。
4. 事務の簡素化のため、現金持参以外の方は全てこの用紙に記入し、機関ごとにまとめてご提出ください。
5. 銀行振込は、所定の銀行口座〔三菱銀行虎ノ門公務部情報処理学会講習会口座 No. 0003774〕にご送金ください。  
なお、座長、プログラム編成委員および現地実行委員は無料です。  
ただし、2 件以上の場合には 1 件増すごとに 4,000 円か 7,000 円をご送金ください。  
注：ご送金は講演発表者名でお願いします。
6. 2 件以上まとめて支払う場合には講演者氏名欄に各講演者名をもれなくご記入ください。（連名者の氏名は記入しないでください。）
7. 支払い件数が多く、下の票に講演者氏名が書ききれない場合は別にリストをつけてください。
8. 講演参加費は消費税対象外です。
9. 講演参加費は平成 5 年 11 月 30 日までにお支払いください。

講演参加費	4,000 円	件	7,000 円	件
講演者氏名	○ ○ ○		○ ○ ○	
合計金額				円
必要書類：請求書 通、納品書 通、見積書 通 ※必要のない方は空欄のままです。				
送金方法： <input type="checkbox"/> 郵便振替（東京 5-83484） ※該当箇所にレ印を付けてください。 <input type="checkbox"/> 銀行振込 _____ 銀行 （専用銀行口座：三菱銀行虎ノ門公務部情報処理学会講習会普通口座 No. 0003774） 送金月日： 月 日 送金人名義：				
通信欄：				
（楷書でハッキリ記入してください）				
講演参加費 取扱者連絡先 〒 _____				
機関・部課名 _____				
氏 <sup>フ</sup> <sup>リ</sup> <sup>ガ</sup> <sup>ナ</sup> 名 _____ 殿				
Tel. _____ (ext. _____) Fax. _____				

情報処理学会第 48 回全国大会

講演申込書

受付 番号	
講演 番号	

掲載 ページ	
-----------	--

第 48 回全国大会に下記により講演申込をいたします。

注 1) 標 題				
フリガナ注 1) 著 者 名				
所 属 名				
フリガナ 著 者 名			←注) 講演者を○印で表示してください(氏名の左上)。(該当欄を○印で囲む)	
所 属 名			正会員	学生会員
			ビデオ	スライド
注 2) 論文該当分野	(1)	(2)	(3)	*1 注 3)
				*2 注 3)

注 1) 学会誌および論文集掲載の「プログラム」は本欄記入事項により作成しますので、提出後の題目、氏名の変更はできません。

注 2) 全国大会実施要領の論文該当分野を参照し、できるだけふさわしい分野をご記入ください。優先順位順に複数分野を記入してけっこうです。(例“ソフトウェア工学分野，開発環境”の場合，6Dと書く)

注 3) 複数件講演申込みをされる方は他の申込書の論文該当分野を上欄の\*1または\*2に記入してください。

論 文 要 旨 (300 字程度)

<p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p>				
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--	--	--

第 48 回 全国大会講演発表用書類送付宛名 (講演者名をお書きください)

◎登録原稿等の送料として郵便切手 175 円を添付のこと。

講演番号

(楷書でハッキリ記入してください)

登録原稿等送付先

機 関 ・ 部 課 名

フリガナ  
講演者氏名

殿 (会員番号

Tel. \_\_\_\_\_ (ext. \_\_\_\_\_) Fax. \_\_\_\_\_

会  
告

## 奨励賞候補の推薦について

全国大会で優秀な論文を発表した会員の中から、大学学部卒業後10年未満（またはこれと同等）の若手の科学者・技術者約10名を選び、奨励賞を贈呈し表彰しております。

つきましては、来る平成5年10月6日～8日に鳥取大学で開催される第47回全国大会での登壇発表者の中から、下記により受賞候補者1名をご推薦くださいますようお願いいたします。

また、第47回全国大会参加者には会場に推薦用紙を用意してありますので、会場でご推薦くださるようお願いいたします。

なお、受賞者の選定は奨励賞委員会（委員長 平栗副会長）で行い、その発表と表彰は来年3月に開催の第48回全国大会（東京理科大学）時に行われる予定です。

### 記

#### 選定範囲および推薦数

第47回全国大会で発表された優秀な論文の登壇発表者1名

**推薦資格** 本学会正会員に限る。

**推薦方法** 官製はがきに、推薦する論文の ①講演番号 ②題目 ③登壇発表者名 ④所属 ⑤出身校（学部）卒年 ⑥推薦理由および推薦者の氏名、所属、住所をもれなくご記入のうえ、本会奨励賞係あてにお送りください。

**推薦締切** 平成5年10月31日（当日消印有効）

### 表彰規程（抜粋）

#### 第5章 奨励賞

第19条 奨励賞は、情報処理に関する学問、技術の奨励のため、有為と認められる新進の科学者または技術者に贈呈する。

第20条 奨励賞を受ける者は、全国大会において優秀な論文を発表した者で、つぎの各号に該当する者から選定する。

- イ 選定の時期において本会会員であること（選定の時期とは、第1回の委員会開催時とする。）
- ロ 講演の時期において大学の学部卒業後10年未満の者またはこれと同等と認められる者であること。
- ハ 大会参加申込の際講演者として登録かつ講演を行った者であること。
- ニ 本奨励賞を受けたことのないものであること。

第21条 第20条の選定は、全国大会終了後速やかに行う。

第22条 奨励賞は、毎回約10名ずつ選定し、贈呈する。

第23条 奨励賞は、賞状、賞牌および賞金とする。

賞金は、1名につき20,000円とする。

CALL FOR PAPERS  
1994年 並列処理シンポジウム  
*Joint Symposium on Parallel Processing 1994*

JSPP'94

工業技術院・筑波研究センター共用講堂  
1994年5月18日(水)～20日(金)

並列処理に関する学問的な課題をめぐって、基礎理論、アルゴリズム、ソフトウェア、アーキテクチャ、応用などの広い範囲にわたって研究発表および議論をすることを目的とした並列処理シンポジウム JSPP も今回で6回目を迎えることになります。本シンポジウムは、単に並列処理に留まらず、分散、協調などの新しいテーマまでを含んだ学際的な研究交流の場の一つとして確立されてきております。今回は、アーキテクチャなどの分野に加えて、応用関連の分野についてもこれまで以上に積極的な投稿を期待します。学際的な並列処理研究のなご一層の発展を目指して、多数御応募くださるようお願いいたします。

◇ テーマ 並列処理・技術と応用

- 基礎理論, 計算モデル, アルゴリズム
- オペレーティングシステム
- データベース
- 数値計算応用
- 超並列処理応用・スーパーコンピューティング
- 光コンピューティング
- プログラミング言語, 言語処理系
- アーキテクチャ
- 人工知能応用
- コンピュータグラフィックス・可視化
- ニューロコンピューティング
- システム性能評価

◇ 発表申込方法

以下の要領にしたがって発表概要 (extended abstract) を8部 (両面コピーを歓迎します) と発表申込票を作成し、1993年12月3日までに下記の申込先までお送り下さい。プログラム委員会において審査を行い、採録するかどうかを決定します。

● 発表概要

研究の技術的内容に加えて、研究の目的、重要性、新規性、他の研究との関連性を明らかにした発表概要を、題目と図表を含めて必ずA4版4頁以内にまとめて記載して下さい (超過したものは審査対象としません)。また発表概要は無記名とし、日本語または英語で記述して下さい。なお、発表概要は必ず郵送して下さい。

● 発表申込票

事務処理簡素化のため、電子メールでの申込を歓迎します。申込票はネットニュース fj.meetings に定期的にポストされる論文募集に添付してあります。また、jspp94@is.s.u-tokyo.ac.jp 宛に電子メールを下さればフォーマットを返送します。なお電子メールでの申込の場合には発表概要送付の際に、発表者名と電子メールアドレスを記載した用紙を同封して下さい。

電子メールを利用できない方は、A4版1枚に発表題目、発表者氏名 (共著者を含む) とその所属、3個程度のキーワード、連絡先の氏名/所属/郵便番号/住所/電話番号/FAX番号/電子メールアドレスを記載して、発表概要と共にお送り下さい。

● 日程

1993年12月3日(金) 発表申込締切  
1994年1月28日(金) 審査結果通知  
1994年4月1日(金) カメラレディ原稿締切

● 発表申込先 (問合せ先)

〒113 文京区本郷 7-3-1  
東京大学理学部情報科学科  
米澤研究室内・JSPP'94 係  
TEL: (03)5800-6913  
FAX: (03)5689-4365  
E-mail: jspp94@is.s.u-tokyo.ac.jp

- ◇ 主催 情報処理学会・計算機アーキテクチャ研究会  
同・データベース研究会  
同・オペレーティングシステム研究会  
同・アルゴリズム研究会  
同・プログラミング—言語・基礎・実践—研究会  
同・ハイパフォーマンスコンピューティング研究会  
電子情報通信学会・コンピュータシステム研究会  
人工知能学会・並列人工知能研究会
- ◇ 協賛 (依頼中) 日本ソフトウェア科学会
- ◇ 実行委員会  
委員長 : 小柳 義夫  
副委員長 : 雨宮 真人 (プログラム委員長), 山口 喜教,  
石井 光雄  
幹事 : 岸本 光弘, 中村 宏, 松岡 聡

## 「画像の認識・理解シンポジウム (MIRU '94)」論文募集

平成3年度に開催した画像の認識・理解シンポジウムでは、国内の関連研究者が一堂に集い、新しいアイデアの提示、および、検証を推進することに大いに貢献しました。2年間の研究の進展を踏まえ、第2回を迎える標記のシンポジウムでは、画像の認識および理解に関する基礎理論、アルゴリズム、システム、応用の範囲にわたって、広く発表および議論の場を再び提供いたしたいと考えております、下記の要領で論文を広く募集いたします。奮ってご応募ください。

### 記

- 日 程** 1994年7月13日(水)～15日(金)  
**会 場** グリーンピア南阿蘇  
(〒869-14 熊本県阿蘇郡久木野村久石 Tel.(09676)7-2131(代表), 阿蘇山の外輪山の南部に位置する。)  
7月12日夜より7月15日の昼まで、実行委員会で宿泊のための部屋を予約してあります。近隣に宿泊施設はありません。  
**主 催** 情報処理学会 コンピュータビジョン研究会  
電子情報通信学会 パターン認識・理解研究会  
**協 賛** テレビジョン学会 画像応用研究会

### テ ー マ

- ・画像認識および理解のパラダイムおよび基礎理論, パターン認識理論
- ・画像処理一般, 形状解析, テクスチャ, 色彩情報処理
- ・動画画像処理, ステレオビジョン, 物体理解, 情景解析, 距離画像処理
- ・産業応用, 文字認識, 文書理解, 図面理解, ロボットビジョン

### 実行委員

- 実行委員長 松山 隆司 (情報処理学会, 岡山大)  
阿部 圭一 (電子情報通信学会 PRU 研究会委員長, 静岡大)  
プログラム委員長 長谷川純一 (中京大) (CV 研究会幹事)  
実行委員 井宮 淳 (千葉大), 谷口倫一郎 (九大) (CV 研究会幹事)  
麻田 治男 (東芝), 渡辺 豊英 (名大) (PRU 研究会幹事)  
全 炳東 (東京商船大) (画像応用研究会)

### 発表申込方法

A4判10ページ程度(図面も含む)の論文(無記名, 日本語か英語), 3部にA4判1枚の発表申込書(発表題目発表者氏名/所属, 5個程度のキーワード, 連絡先の氏名/所属/郵便番号/住所/電話番号/Fax番号/e-mailアドレス)を添え, 下記の学会事務局まで申し込みください。実行委員会において審査を行い, 採録するかどうかを決定いたします。

### スケジュール

- 1993年12月15日(水)発表申込締切  
1994年3月下旬 審査結果通知  
1994年6月1日(水)カメラレディ原稿締切(A4判8～10ページの予定)

### 論文提出先(問合せ先)

情報処理学会 MIRU '94 シンポジウム係  
〒160 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル 27 F  
Tel. (03)5322-3535 Fax. (03)5322-3534



# 第10回色彩工学コンファレンス

(第39回光学四学会連合講演会)

主催：光学四学会（照明学会、日本色彩学会、日本写真学会、応用物理学会日本光学会）

協賛：画像電子学会、情報処理学会、テレビジョン学会、電気学会、電子写真学会、電子情報通信学会、日本印刷学会、日本心理学会、日本デザイン学会、日本ME学会、レーザー学会、色材協会、I ST東京支部、人工知能学会、日本視覚学会。

特別協力：工学院大学

第10回色彩工学コンファレンスを下記のように開催いたします。  
 また展示会『カラー-JAPAN'93』（10月26日～28日、入場無料）とチュートリアル講演（10月26日、別途有料）も併催いたします。関連分野の方々の積極的な参加を期待しています。

## 色彩工学コンファレンス

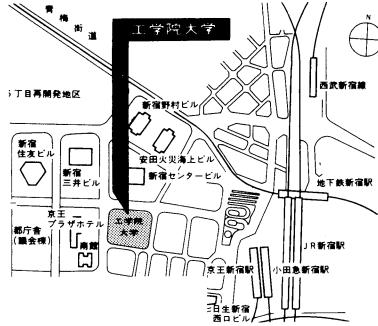
日時：1993年10月27日（水） 9:00～17:30  
 28日（木） 9:00～17:00  
 懇親会 27日（水） 18:00～19:30  
 会場：工学院大学・3階ホール（東京・西新宿）  
 東京都新宿区西新宿1-24-2 ☎(03)3342-1211  
 コンファレンス参加費（論文集代を含む）  
 共催協賛会員 11,000円  
 非会員 14,000円  
 学生 5,000円  
 懇親会： 5,000円

## 第10回記念特別企画

特別招待講演  
 基調テーマ『色彩工学の今、そしてこれから……』  
 納谷嘉信教授（大阪電気通信大学）  
 「色彩研究・これまで・これから 体験に基いて」  
 池田光男教授（京都大学）  
 「色覚研究の色彩工学への貢献 これまでとこれから」

記念シンポジウム  
 『色再現テクノロジーの最前線』  
 コーディネータ：畑田豊彦教授（東京工芸大学）  
 招待講演、応募講演、および討論

交通：JR中央線・山手線、小田急・京王・地下鉄の新宿駅至近。  
 西口地下道から大学校舎地下1階に直接はれます。



## チュートリアル講演

日時：10月26日（火） 9:40～17:15  
 会場：工学院大学・3階ホール  
 チュートリアル参加費（テキスト代を含む）  
 チュートリアルのみ参加 20,000円  
 コンファレンス参加者 16,000円  
 学生 6,000円

## プログラム

9:40～10:55 (1) 色覚の基礎 阿山みよし (宇都宮大)  
 11:05～12:20 (2) 測光測色技術の実際 一條 隆 (東芝リテック)  
 13:10～14:25 (3) 光源の光色と演色性 橋本健次郎 (松下電器)  
 14:35～15:50 (4) 色彩計測技術の実際 戸沢 均 (トプコン)  
 16:00～17:15 (5) 色再現技術の実際 洪 博哲 (コニカ)

## 申込・送金方法：

- 銀行振込の場合：申込書に必要事項をご記入の上、下記の申込先までお送りください（FAX可）。こうがくよんがくがくせんしかい  
 振込先は三菱銀行・浜松町支店（018）・普通預金・0135840 口座名「光学四学会幹事会」
- 郵便振替の場合：申込は、振替用紙の通信欄に申込書と同じ事項をお書きください（個人名も）。申込書は送らないでください。  
 振替は、東京8-69794 口座名「光学四学会幹事会」
- 申込書あるいは振替用紙が事務局に届き次第、参加受付証をお送りします。
- 申込先：〒105 東京都港区浜松町2-12-14 第2日化ビル連企画気付「色彩工学コンファレンス事務局」☎ 03(3433)2543  
 FAX 03(3433)3904

論文集：当日会場でお渡します（欠席者には郵送）。論文集だけは11,000円で頒布（終了後郵送）。

## 第10回色彩工学コンファレンス申込書

氏名 (複数記入可)	所属学会
連絡先 〒 所在地	参加 <input type="checkbox"/> コンファレンス <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> 懇親会
機関名	資格 <input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 非会員 <input type="checkbox"/> 学生
所属	送金額 (予定)

## 第10色彩工学コンファレンス プログラム

### 第1日 10月27日(水) 9:00~17:30

開会の辞(9:00~9:10)

和気典二実行委員長(照明学会、東京理科大)

1. 光源・デバイス(9:10~10:30)

座長

明道 成(三菱電機)

1-1 最近の光源開発の動向(招待講演)

井上昭浩(東芝ライテック)

1-2 色彩評価光源の条件について

佐藤泰司(セリック)

1-3 実用的なカラーディスプレイ装置の特性評価

奥沢二郎(コニカ) 当真純子(日本エコー) 牧田 丞(ロンドンティーン)

河合雅仁(東工大) 飯塚昌之(東工芸大)

2. 測色(I)(10:30~11:10)

2-1 工業における色差評価技術の最新状況(招待講演)

小松原仁(色研)

3. 第10回記念特別招待講演(I)(11:20~12:00)

座長

淵田隆義(東芝ライテック)

3-1 色彩研究・これまで・これから -体験に基づいて-

納谷嘉信(大阪電通大)

4. 第10回記念シンポジウム「色再現テクノロジーの最新線」(13:30~17:30)

座長

ト部 仁(富士フィルム)

コーディネータ 畑田豊彦(東京工芸大)

4-1 Generic Architecture for Colour Data Interchange -ISO/IEC JTC1/SC18/WG5の活動状況(招待講演)

前田正浩(富士ゼロックス) 村井和夫(リコー) 田處善久(キヤノン)

4-2 機器に依存しない色再現について(招待講演)

池田宏明(千葉大)

4-3 CRTハードコピー出力の色再現(招待講演)

久保雅裕(富士フィルム)

座長

犬井正男(コニカ)

4-4 モンテカルロ法による印刷物の発色機構の解析と再現色予測

杉田充朗・白岩敬信(キヤノン)

4-5 ディスプレープリンタ間における自動Gamut変換法

塚田正人・田島譲二(NEC)

4-6 画像の色彩情報処理システムに関する一提案

小林光夫・鈴木卓治(電通大)

4-7 討論・総括

懇親会(18:00~19:30)

### 第2日 10月28日(木) 9:00~17:00

5. 色覚(9:00~11:10)

座長

中野靖久(東工大)

5-1 Guthの色覚モデル(CA90)の改良に関する一考察

佐藤雅子・岡口英明(千葉大)

5-2 非線形色知覚モデルにおけるクロマ尺度の改良

○納谷嘉信(大阪電通大) 側垣博明(電総研) 橋本健次郎(松下電器)

5-3  $L^*u^*v^*$ 表色系を用いるHelmholtz-Kohlrausch効果の推定

○中島基宏・納谷嘉信(大阪電通大)

5-4 雑体のモザイクとコントラスト感度(招待講演)

関口修利(オリンパス光学)

5-5 色知覚における周辺色の空間的加法性

杉山 徹・塩入 論・矢口博久・久保走一(千葉大)

6. 第10回記念特別招待講演(II)(11:20~12:00)

座長

佐川 賢(生命工学研)

6-1 色覚研究の色彩工学への貢献 -これまでとこれから-

池田光男(京大)

7. 測色(II)(13:30~15:20)

座長

一條 隆(東芝ライテック)

7-1 AIC大会について(招待講演)

淵田隆義(東芝ライテック)

7-2 化粧品色の見えに及ぼす照明の影響 ~照明の演色特性の化粧品色評価への影響~

小堀 正・淵田隆義(東芝ライテック) 佐藤千穂・棟方明博(資生堂)

小松原仁(色研) 鈴木恒男(慶應大)

7-3 化粧品色の見えに及ぼす照明の影響 ~オフィス照明下での顔のテクスチャー変化に対する視認性~

○佐藤千穂・棟方明博(資生堂) 小堀 正・淵田隆義(東芝ライテック)

小松原仁(色研) 鈴木恒男(慶應大)

7-4 黄色路面標示材に関する一考察

藤田晃弘・古田孝光(名城大)

8. 色再現(15:30~16:10)

座長

棟方明博(資生堂)

8-1 ANSIカラーターゲット -デバイス機能によらない色再現をめざして-(招待講演)

室岡 孝(富士フィルム)

9. 配色(16:10~16:50)

8-1 分光反射・透過・吸収面をもつ室内空間の分光光束発散度分布と色彩変化のモンテカルロシミュレーション

○長田正義・下村直行・中島健夫(徳島大) 伊祁恵都嗣(四国システム開発)

8-2 色彩パターンの心理評価

佐川 賢(生命工学研) 清水 豊(筑波技術短大)

閉会の辞(16:50~17:00)

第11回色彩工学コンファレンス実行委員長

## 「学会誌特集セミナー：グループウェアの実現に向けて」開催について

1980年代中頃から米国を中心に、協同処理の新しいパラダイムとしての可能性を持つ CSCW (Computer Supported Cooperative Work), あるいはグループウェアと呼ばれる研究分野が脚光をあびてきた。わが国でも昨年、本学会においてグループウェア研究会グループが設立され、本年4月からグループウェア研究会として活発な活動がおこなわれている。

CSCW では、その言葉が表すとおり CS (コンピュータ支援) と CW (協同作業) が車の両輪にたとえられている人間の作業は共有され、組織化されて初めて意味を持ち、社会に貢献し得る。しかし、このような総合的組織作業の支援は、単なるハードウェア、ソフトウェアのみならず、人間の社会行動全般にわたる深い理解なしでは到底なしとげることとはできない。CSCW の研究は確立されてからまだ日は浅いながら、多岐の分野にわたって精力的に行われており単に学術研究における議論の進展にのみならず、新しいワークスタイルの確立にも大きく寄与することが期待される。

本セミナーの目的は、グループウェアに対するこれまでの研究の流れを解説し、これからの展望を提唱することである。講師には、情報処理学会誌の特集「グループウェアの実現に向けて」の執筆者を迎え、学会誌では述べられなかった点や、最近の動向を加えて具体的かつ分かりやすく説明していただく。グループウェアについて興味あるいは疑問をもつ多くの技術者や研究者が本セミナーに参加されることをお勧めいたします。

日 時 平成5年11月16日(火) 10時～17時  
場 所 工学院大学11階第5会議室(新宿区西新宿)  
参 加 費 会員 15,000円 一般 20,000円 学生 5,000円  
(資料として学会誌「情報処理」34巻8月号をご持参ください。)  
学会誌をお持ちでない方には、2,000円でお頒けします。  
申込締切 平成5年10月29日(金)  
問合せ先 情報処理学会 特集セミナー係  
〒160 東京都新宿区西新宿1-24-1 エステック情報ビル27F  
Tel. (03)5322-3535 Fax. (03)5322-3534

### プ ロ グ ラ ム

開催の挨拶 (10:00～10:10)	岡田 謙一(慶大)
・グループウェア実現のために (10:10～11:00)	松下 温(慶大)
——休憩 (11:00～11:10) ——	
・グループウェアのためのマルチメディア通信処理技術 (11:10～11:50)	阪田 史郎(NEC)
——昼食 (11:50～13:00) ——	
・グループワークのための情報共有技術 (13:00～13:50)	村永 哲郎(東芝)
・グループウェアにおけるコミュニケーション支援 (13:50～14:40)	岡田 謙一(慶大)
——休憩 (14:40～15:00) ——	
・グループウェアにおけるグループ活動モデルの概要 (15:00～15:50)	坂下 善彦(三菱)
・グループワークのための組織モデル (15:50～16:40)	西山 賢一(埼玉大)
閉会の挨拶 (16:40～16:50)	岡田 謙一(慶大)

「学会誌特集セミナー：グループウェアの実現に向けて」

参加申込書

平成5年 月 日

標記セミナーの参加を下記によって申し込みます。

○参加費（該当するものを○で囲む）

会員 15,000円 一般 20,000円 学生 5,000円

\*連絡なき欠席の場合にも参加費を徴収させていただきます。

○送金方法（該当するものを○で囲む）

合計 \_\_\_\_\_円を

a) 当日、会場受付にて支払います。

b) 現金書留で

c) 銀行振込（いずれも普通預金口座）で \_\_\_\_\_月\_\_\_\_\_日送金します。

1. 第一勧銀新宿西口支店 2049562

2. 三菱銀行虎ノ門公務部 0000608

名義人 東京都新宿区西新宿 1-24-1 社団法人 情報処理学会

送金人名義 \_\_\_\_\_様

\*請求書類の必要な方はお申し出ください。

請求書 通、見積書 通、納品書 通

請求先 \_\_\_\_\_

注) 申込書は1枚1人としてください。（コピーで申し込むこと）

○申込先・送金先（Faxも可）

情報処理学会 特集セミナー係

〒160 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル 27 F

Tel. (03)5322-3535 Fax. (03)5322-3534

（楷書でハッキリ記入してください）

申込者  
連絡先〒 \_\_\_\_\_

機関・  
部課名 \_\_\_\_\_

フリガナ \_\_\_\_\_ 会員番号 \_\_\_\_\_  
氏 名 \_\_\_\_\_ 殿 ( \_\_\_\_\_ )

Tel. \_\_\_\_\_ (ext. \_\_\_\_\_) Fax. \_\_\_\_\_

## 「マルチメディア通信と分散処理ワークショップ」開催のご案内

「マルチメディア通信と分散処理ワークショップ」を下記のように開催いたします。本ワークショップは、マルチメディア通信と分散処理について合宿形式により幅広く議論することを目的としています。今回のワークショップでは、投稿された多数の論文の中から、論文審査を行った結果、以下の論文が発表されることとなりました。

本ワークショップは、合宿形式により、論文発表とともに広い範囲での多くの議論を行うことを目的としております。また、プログラム終了後も会場にて討議を行う予定になっております。

多数の方々のご参加をお願いいたします。

**日 時** 平成5年11月17日(水) 13:20~17:45

11月18日(木) 8:35~18:20

11月19日(金) 9:00~12:05

**場 所** 山形蔵王温泉 白翠苑(農林年金ホテルチェーン)  
JR山形駅よりバス蔵王行終点(45分)下車徒歩10分  
白翠苑送迎バス予定(参加者はご利用ください)

11月17日 12:30 JR山形駅より白翠苑

11月19日 12:10 白翠苑よりJR山形駅

11月19日 13:00 白翠苑よりJR山形駅

**主 催** 情報処理学会 マルチメディア通信と分散処理研究会

**参 加 費** 正会員 43,000円 研究会登録会員 38,000円 学生会員 28,000円

非会員 48,000円 学生 28,000円(いずれも論文集を含む)

論文集のみ3,000円(送料込)

\*参加申込み後、やむを得ず参加を取り消される場合、11月8日(月)までにお願ひします。取り消しの連絡のない場合、準備の都合上、参加費を徴収させていただきます。

\*発表者の方も参加申込みが必要です。

**申込締切** 平成5年11月1日(月)までに申込書を郵送してください。

(定員100名になり次第締め切らせていただきます。論文集のみの方は、印刷部数に限りがありますのであるべくお早めにお申込みください)

**申 込 先** 〒160 東京都新宿区西新宿1-24-1 エステック情報ビル27階

(社)情報処理学会 ワークショップ係

Tel.(03)5322-3535 Fax.(03)5322-3534

### プログラム

**第1日 11月17日(水) 13:20~17:45**

開会(13:20~13:30)

司会: 滝沢 誠(電機大)

挨拶

白鳥 則郎(東北大)

**セッション1: 分散協調処理(13:20~15:20)**

座長: 滝沢 誠(電機大)

(1) 招待講演: コラボレーションとコミュニケーションを考える

松下 温(慶大)

(2) 自律的エージェント間の交渉方式

矢羽田千哲, 滝沢 誠(電機大)

(3) エージェントの結合方式に着目した分散協調システムの負荷分散への適用について

加藤 健, 渡辺 尚, 水野 忠則(静岡大)

(4) 自律分散概念に基づく分散環境マネジメントシステムの提案

森 啓介, 丹野 州宣(山形大), 布川 博士, 白鳥 則郎(東北大)

— 休憩(15:15~15:40) —

**セッション2: グループウェアでの通信(15:40~17:45)**

座長: 菅野 政孝(NTTデータ)

(5) 雑談を用いた電子会議のコミュニケーションについての検討 宗森 純, 堀切 一郎, 長澤 庸二(鹿児島大)

(6) CSCW(Computer Supported Cooperative Work)からVirtual Communityへ — 透過システム技術の提案 —

江谷 典子(富士ゼロックス情報システム)

(7) オンデマンドオーディオサーバの実現

篠田 晃, 石井 一彦, 桑名 栄二(NTT)

(8) 分散環境におけるクラスルーム支援システム

武田 利浩, 丹野 州宣(山形大), 清水 詳士, 山本 秀幸(IBM公共ソリューション)

(9) ユーザの秘密鍵生成に関与しない鍵管理センタ方式の提案

— 鍵管理センタ管理者の不正からユーザの秘密を守る — 石井 晋司, 松本 博幸(NTT)

第2日 11月18日(木) 8:35~18:20

セッション3: ネットワーク管理 (8:35~10:40)

座長: 本田 邦夫 (松下電器)

- (10) 域間網経路制御における終端サイトの意思について 村山 優子 (WIDE), 中村 素典 (京大),  
清水 亮博 (東工大), 藤原 和典 (早大), 相川 秀幸 (富士通研)
- (11) 分散システムにおける動的改版のためのグループ通信 松垣 博章 (NTT)
- (12) ネットワークアドレス自動取得機能の実装および移動計算機への応用  
富永 明宏, 村井 純 (慶大), 寺岡 文男 (ソニー)
- (13) 記述名処理用分散名前管理サーバの ODP の考え方にに基づく設計 古宇田フミ子 (東大)
- (14) ネットワーク管理における分散処理 北橋 雅子 (IPA), 野口 正一 (日大)

—— 休憩 (10:40~10:50) ——

セッション4: プロトコル (10:50~12:05)

座長: 砂原 秀樹 (電通大)

- (15) OSI 7 層ボードを用いた小型メッセージ通信処理システム 井戸上 彰, 加藤 聡彦, 鈴木 健二 (KDD)
- (16) 1 チャンネル上の選択的全順序放送通信プロトコルのデータ転送手続き  
立川 敬行, 中村 章人, 滝沢 誠 (電機大)
- (17) ハードウェア化を考慮したマルチメディア指向 ATM スイッチセルスケジューリングアルゴリズム  
大庭 信之 (日本 IBM), 鈴木 健一, 小林 広明, 中村 維男 (東北大)

—— 昼休み (12:05~13:00) ——

セッション5: 分散制御システム (13:00~14:45)

座長: 鈴木 健二 (KDD)

- (18) 招待講演: 衛星通信ネットワークとマルチメディア 勅使河原可海 (NEC)
- (19) 分散システムにおける強い障害モデルの考察 齋藤 正史 (三菱)
- (20) リアルタイム分散システムにおけるスケジュール性の考察 荒井 兼秀, 齋藤 正史 (三菱)
- (21) FA/CIM における分散制御監視システム構築環境対応要件  
中野 宣政 (三菱), 渡辺 尚, 水野 忠則 (静岡大)

—— 休憩 (14:45~15:15) ——

セッション6: マルチメディア処理 (15:15~16:55)

座長: 平沢 裕 (東芝)

- (22) マルチメディア情報の生命的分散協調モデル 米澤 保雄 (愛知技短大)
- (23) マルチメディア通信用の TCP/IP-WAN 構築手法の検討 水沼 信治, 篠田 晃, 桑名 栄二 (NTT)
- (24) 分野環境におけるマルチメディア情報形式の変換処理 青柳 達也, 川合 英俊 (いわき明星大)
- (25) デジタル-アナログハイブリッド映像情報システム 野島 晋二, 西川 宏 (松下電器)

—— 休憩 (16:55~17:05) ——

セッション7: 高速通信 (17:05~18:20)

座長: 平原 正樹 (九大)

- (26) 日本の IP インターネットの経路制御方式  
加藤 朗 (東大), 山本 和彦 (九大), 中村 素典 (京大), 相原 玲二 (広島大)
- (27) 自己トークンプロトコルとその性能評価  
丹野 州宣, 武田 利浩, 小山 明夫 (山形大), 野口 正一 (日大)
- (28) トークンリングにおける高多重伝送のための制御手法  
屠 東原, ラシッド・イマド, 小林 広明, 中村 維男 (東北大)

第3日 11月19日(金) 9:00~12:05

セッション8: 通信プロトコル検証 (9:00~10:40)

座長: 寺中 勝美 (NTT)

- (29) ALOTOS Based Synthesis Method for Protocol Specification  
Bhed Bahadur Bista, 白鳥 則郎 (東北大), Zixue Cheng (会津大)
- (30) LOTOS マルチランデブの実装とその応用 小野 良司, 白鳥 則郎 (東北大), Zixue Cheng (会津大)
- (31) グループ通信プロトコルの論理的性質と評価 中村 章人, 滝沢 誠 (電機大)
- (32) 通信プロトコルのフェーズ合成法とそのトークンパッシング制御を含むプロトコルの検証への適用  
佐野 哲央, 樋口 昌宏, 関 浩之, 嵩 忠雄 (阪大)

—— 休憩 (10:40~10:50) ——

セッション9: 分散処理技術 (10:50~12:05)

座長: 高田 治 (日立)

- (33) ATM ネットワークを用いた分散共有メモリ型分散処理システム  
高橋 雅史, 小林 広明, 中村 維男 (東北大), 大庭 信之 (日本 IBM)
- (34) QOS 指定可能なマルチメディア・モデルの提案 稲垣英太郎, 岡村 耕二, 荒木啓二郎 (奈良先端科技大)
- (35) QOS を考慮した適応型多重化方式 神林 隆, 山下 高生, 小野 諭 (NTT)

## 「マルチメディア通信と分散処理ワークショップ」

## 参加申込書

平成5年 月 日

標記シンポジウムの参加を下記によって申し込みます。

○参加費 (該当するものを○で囲む)

会員 43,000円 研究会登録会員 38,000円 非会員 48,000円 学生 28,000円

\*参加費には資料代が含まれています。

○論文集のみ (3,000円, 送料込) \_\_\_\_\_冊

○送金方法 (該当するものを○で囲む)

合計 \_\_\_\_\_円を

a) 当日, 会場受付にて支払います。

b) 現金書留で \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日送金します。

c) 銀行振込 (いずれも普通預金口座) で \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日送金します。

1. 第一勧銀新宿西口支店 2049562

2. 三菱銀行虎ノ門公務部 0000608

名義人 東京都新宿区西新宿 1-24-1 社団法人 情報処理学会

送金人名義 \_\_\_\_\_様

\*請求書類の必要な方はお申し出ください。

請求書 通, 見積書 通, 納品書 通

請求先 \_\_\_\_\_

注) 申込書は1枚1人としてください。(コピーで申し込むこと)

○申込先・送金先 (Faxも可)

情報処理学会 ワークショップ係

〒160 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル 27F

Tel. (03)5322-3535 Fax. (03)5322-3534

(楷書でハッキリ記入してください)

申込者  
連絡先〒 \_\_\_\_\_機関・  
部課名 \_\_\_\_\_フリガナ  
氏名 \_\_\_\_\_

会員番号

殿 ( \_\_\_\_\_ )

Tel. \_\_\_\_\_ (ext. \_\_\_\_\_) Fax. \_\_\_\_\_

## 「知識のリフォーメーション」シンポジウム開催について

標記シンポジウムに関して、多数の論文をご応募いただき誠にありがとうございました。論文審査の結果、下記要領でシンポジウムを開催することになりました。多数の方々のご参加をお願いいたします。

日 時 平成5年11月25日(木)～26日(金) 9:00～17:00  
 場 所 東京工業大学百年記念館  
 主 催 情報処理学会 人工知能研究会  
 協 賛 人工知能学会, 電子情報通信学会, 人工知能と知識処理研究会(予定)  
 参加費 会員 10,000円 学生 5,000円 一般 15,000円  
 論文集のみ 5,000円(送料込)  
 申込締切 平成5年11月8日(月)  
 申 込 先 〒160 東京都新宿区西新宿1-24-1 エステック情報ビル27F  
 (社)情報処理学会 「知識のリフォーメーション」シンポジウム係  
 Tel. (03)5322-3535 Fax. (03)5322-3534

### — プ ロ グ ラ ム —

#### 第1日 11月25日(木)

シンポジウム実行委員長挨拶 (9:10～9:15)

石塚 満(東大)

#### Session 1 知識コンパイル/リフォーメーション(1) (9:15～10:45)

座長 吉田 裕之(富士通研)

- ・PTTPに基づくサーカムスクリプションのコンパイル方法
- ・二分決定グラフ(BDD)による多重文脈型真偽維持システムの実現

岩沼 宏治(山梨大)

- ・仮説推論高速化のための知識ベース・リフォーメーション

奥乃 博(NTT), 下國 治, 田中 英彦(東大)

堂前 宣夫(マッキンゼー・アンド・カンパニー), 石塚 満(東大)

#### Session 2 知識コンパイル/リフォーメーション(2) (11:00～12:00)

座長 吉田 裕之(富士通研)

- ・制約違反の十分条件の蓄積による制約充足/最適化の高速化

丸山 文宏, 箕田 依子, 澤田 秀穂(富士通研)

- ・知識型設計支援における知識リフォーメーション

木下 哲男(沖電気)

#### Session 3 特別講演 (13:00～14:00)

座長 橋田 浩一(電総研)

- ・なぜ大規模知識ベースが必要か

横井 俊夫(EDR)

#### Session 4 学習によるリフォーメーション (14:15～15:45)

座長 赤埴 淳一(NTT)

- ・知識のリフォーメーション・システムとしてのRLS

田島 守彦(電総研)

- ・オブジェクト指向知識モデルと連想推論

塚本 義明, 生天目 章(防衛大)

- ・ファジィ決定木を用いた数値予測

櫻井 茂明, 荒木 大(東芝)

#### Session 5 知識の組織化 (16:00～17:00)

座長 赤埴 淳一(NTT)

- ・生命的創発性情報処理: 基本的枠組みの検討

米澤 保雄(愛知技術短大)

- ・ハイパー情報の組織化

山下 雅弘, 生天目 章(防衛大)

#### 第2日 11月26日(金)

#### Session 6 抽象化と事例ベース (9:15～10:45)

座長 水谷 博之(東芝)

- ・準同型変換におけるプランニング問題の抽象化

馬淵 浩司(北大)

- ・抽象化による証明プランの生成

王 国傑, 鈴木 淳之(静岡大)

- ・事例ベース推論における事例ベース管理機構

服部 雅一, 田中 利一, 末田 直道(東芝)

#### Session 7 招待講演 (11:00～12:00)

座長 奥乃 博(NTT)

- ・超並列AIの挑戦

北野 宏明(NEC)

#### Session 8 パネル討論 (13:00～15:15)

司会 沼尾 正行(東工大)

- ・アナロジーからの創発一分野間での思考の違いを超えて—

パネリスト 青木 義次(東工大), 有馬 淳(富士通研), 楠見 孝(筑波大)

佐藤 理史(北陸先端大), 堀 浩一(東大)

#### Session 9 類推 (15:30～17:00)

座長 有馬 淳(富士通研)

- ・抽象化に基づく類推の定式化とその論理プログラミングによる実現

石川 孝(べんてる), 寺野 隆雄(筑波大)

- ・抽象化に基づく類推による知識の変換について

櫻井成一郎, 原口 誠(東工大)

- ・解釈的アナロジーを用いた概念のリフォーミュレーション

佐土原 健, 原口 誠(東工大)



「知識のリフォーメーション」シンポジウム  
参加申込書

平成5年 月 日

標記シンポジウムの参加を下記によって申し込みます。

○参加費（該当するものを○で囲む）

会員 10,000円 学生 5,000円 一般 15,000円

\*参加費には論文集代が含まれています。

\*連絡なき欠席の場合にも参加費を徴収させていただきます。

○論文集のみ（5,000円、送料込）\_\_\_\_\_冊

○送金方法（該当するものを○で囲む）

合計\_\_\_\_\_円を

a) 当日、会場受付にて支払います。

b) 現金書留で

c) 銀行振込（いずれも普通預金口座）で \_\_\_\_\_月\_\_\_\_\_日送金します。

1. 第一勧銀新宿西口支店 2049562

2. 三菱銀行虎ノ門公務部 0000608

名義人 東京都新宿区西新宿 1-24-1 社団法人 情報処理学会

送金人名義 \_\_\_\_\_様

\*請求書類の必要な方はお申し出ください。

請求書 通、見積書 通、納品書 通

請求先\_\_\_\_\_

注) 申込書は1枚1人としてください。（コピーで申し込むこと）

○申込先・送金先（Faxも可）

情報処理学会 シンポジウム係

〒160 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル 27F

Tel. (03)5322-3535 Fax. (03)5322-3534

（楷書でハッキリ記入してください）

申込者  
連絡先 〒\_\_\_\_\_

機関・  
部課名 \_\_\_\_\_

フリガナ  
氏名 \_\_\_\_\_

会員番号

殿 ( \_\_\_\_\_ )

Tel. \_\_\_\_\_ (ext. \_\_\_\_\_) Fax. \_\_\_\_\_

## 「アドバンスト・データベースシステム・シンポジウム '93 及び併設講習会」 開催について

### ——マルチメディアデータベースシステム技術の現状と将来——

データベースシステム技術は情報処理システムの中核技術として近年その進歩は著しく、データベースはデータの単なる格納庫から脱却し、企業のさまざまな生産活動を直接支援するかけがえのない機能を果たすべく期待されている。特にデータベースのマルチメディア化への期待は大きく、データベースシステムは、従来の文字・数値データに加えてテキスト、図形、静止画像、動画像、音など、さまざまなデータを統合・一元管理できることを要求されている。しかしながら、現在そのためのマルチメディアデータベースシステム技術は確立されていない。

そこで本シンポジウム及び併設講習会では、最近のマルチメディア・ハイパーメディアデータベースとその関連技術の現状を特集し、その将来を展望してみる。

### 「アドバンスト・データベースシステム・シンポジウム '93 講習会」 ——マルチメディア・ハイパーメディア標準化の最新動向——

**日 時** 平成 5 年 12 月 1 日 (水) 9:30~17:00  
**場 所** 工学院大学 3 階 312 教室 (新宿区西新宿)  
**参加費** 会員 10,000 円 学生会員 2,000 円 一般 15,000 円  
 (講習会とシンポジウムの両方に参加される場合は割引料金となります。詳しくは参加申込書をご覧ください。)

**主 催** 情報処理学会 データベースシステム研究会

**申込締切** 平成 5 年 11 月 12 日 (金)

#### プログラム

9:30~11:00	マルチメディアデータベース技術の現状と将来	増永 良文 (情報大)
11:00~11:15	コーヒープレーク	
11:15~12:45	Hyper ODA の最新動向	藤村 是明 (電総研)
12:45~13:45	昼休み	
13:45~15:15	MHEG の最新動向	亀山 渉 (GCL)
15:15~15:30	コーヒープレーク	
15:30~17:00	HiTime の最新動向	小町 祐史 (松下電送)

### 「アドバンスト・データベースシステム・シンポジウム '93 (本会議)」 ——マルチメディアデータベースシステム技術の現状と将来——

**日 時** 平成 5 年 12 月 2 日 (木) 9:00~19:00  
 3 日 (金) 9:00~19:30  
**場 所** 工学院大学 3 階 312 教室 (新宿区西新宿)  
**参加費** 会員 15,000 円 学生会員 3,000 円 一般 20,000 円  
 (講習会とシンポジウムの両方に参加される場合は割引料金となります。詳しくは参加申込書をご覧ください。)

**主 催** 情報処理学会 データベースシステム研究会

**申込締切** 平成 5 年 11 月 12 日 (金)

**プログラム** (一般論文の講演時間は 40 分、ただし <S> 印は 25 分、含質疑応答)

12 月 2 日 (木) 9:00~19:00		
9:00~9:05	主査挨拶	シンポジウム開催にあたって
9:05~9:50	基調講演	マルチメディアデータベースシステムの技術課題
9:50~11:35	ハイパーメディア	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハイパーメディアシステム「雅」におけるメディアナビゲーション方式 平田 恭二, 原 良憲 (NEC)</li> <li>・アクティブ機能を持つハイパーメディアデータベースの試作                内藤 広志, 佐藤 衛, 松山 洋一, 山下 真司, 棚木 孝一 (キヤノン)</li> <li>・アプリケーション統合を目的としたハイパーメディアの構築と実システムへの適用 &lt;S&gt;</li> </ul>		

阿倍 博信, 土田 泰治, 佐々木幹郎 (三菱)

11: 35~12: 35 昼休み

12: 35~14: 35 サーベイセッション(1) マルチメディア要素 -a-

- ・画像データベース技術の現状と将来 岡崎 彰夫 (東芝)
- ・動画像データベース技術の現状と将来 -Obase プロジェクトにおける動画像情報の扱い- 田中 克己 (神戸大), 下條 真司 (阪大)

14: 35~14: 50 コーヒーブレイク

14: 50~17: 00 オブジェクト指向データモデル

- ・ObaseSQL: 拡張経路式と継承演算子を持つオブジェクトベース言語 吉川 正俊 (奈良先端科技大), 田中 克己 (神戸大), 上善 恒雄 (千里国際情報事業財団), 田中 康暁 (奈良先端科技大), 蛭井 潤 (神戸大), 堀田光治郎 (コベルシステム)
- ・オブジェクト指向データベースにおける経路存在従属性と属性キー制約 神谷 誠 (神戸大), 大本 英徹 (京都産大), 田中 克己 (神戸大)
- ・プロトタイプモデルに基づくインクリメンタルなデータベース管理モデル <S> 増田 佳弘, 植田 学, 石飛 康浩 (富士ゼロックス) 掛下 哲郎 (佐賀大)
- ・ビュー機能を用いた木構造オブジェクトの段階的検索と編集操作 <S>

17: 00~17: 15 コーヒーブレイク (お茶菓子付き)

17: 15~19: 00 アドバンスドデータベースシステム

- ・スーパーデータベースコンピュータ第二版(SDC 2)のシステムソフトウェア 中村 稔, 田村 孝之, 喜連川 優, 高木 幹雄 (東大)
- ・Dynamic Skew Handling for Parallel Joins in Shared-Nothing Database Systems 原田リリアン (富士通研), 喜連川 優 (東大)
- ・ネットワーク管理におけるオブジェクトデータベースの利用 <S> 北橋 雅子 (情報処理振興事業協会), 野口 正一 (日大)

12月3日 (金) 9: 00~19: 30

9: 00~12: 00 サーベイセッション(2) マルチメディア要素技術 -b-

- ・マルチメディア通信技術の現状と将来 山下 正秀 (NTT)
- ・音声データベースの現状と将来 板橋 秀一 (筑波大)
- ・テキストデータベース技術の現状と将来 小川 泰嗣 (リコー)

12: 00~13: 00 昼休み

13: 00~14: 45 マルチメディアデータモデル

- ・マルチメディアデータモデル OMEGA における音データと動画像データのサポート 増永 良文 (情報大)
- ・映像データベースシステムの構成の一方 有澤 博, 由井 仁, 富井 尚志 (横浜国大)
- ・多様情報生成の為に生命的創発性情報処理 -マルチメディア・データベースの構築の記述問題の検討- <S> 米澤 保雄 (愛知技短大)

14: 45~15: 00 コーヒーブレイク

15: 00~16: 05 エンジニアリングデータベース

- ・建築物設計支援のための空間オブジェクトモデル 高松 利行 (大和ハウス, 神戸大), 堺 千秋, 浅野 憲秀 (大和ハウス), 田中 克己 (神戸大)
- ・コンカレント・エンジニアリングのための CAD オブジェクト管理の検討 <S> 増井 久之, 宇田川佳久 (三菱)

16: 05~16: 10 ショートブレイク

16: 10~17: 40 テキストデータベース

- ・情報検索システムの評価のためのベンチマークデータベースの構築 石川 徹也 (情報大), 小川 泰嗣 (リコー), 木本 晴夫 (NTT), 芥子 育雄 (シャープ), 田中 智博 (NTT), 豊浦 潤 (三菱), 福島 俊一 (NEC), 増永 良文 (情報大)
- ・意味ベクトルによる百科事典テキストデータベースの構築 <S> 芥子 育雄, 池内 洋, 小淵 保司 (シャープ) 北村 啓子 (国文学研究資料館)
- ・古文書を表現するためのマルチメディアデータモデル <S>

17: 40~18: 00 コーヒーブレイク

18: 00~19: 30 パネルセッション

マルチメディアデータベースとは何か—その要件と要素技術—  
(司会, パネリストは11月号に掲載)

参加者数に限りがありますので, お早めにお申し込みください。

「アドバンスト・データベースシステム・シンポジウム'93 及び併設講習会」

参加申込書

平成5年 月 日

標記シンポジウム／併設講習会の参加を下記によって申し込みます。

○参加費（該当するものを○でかこむ）

(1) アドバンスト・データベースシステム・シンポジウム'93 及び併設講習会に参加  
正会員, 賛助会員 20,000 円 学生会員 4,000 円 非会員 28,000 円

(2) アドバンスト・データベースシステム・シンポジウム'93 のみ参加  
正会員, 賛助会員 15,000 円 学生会員 3,000 円 非会員 20,000 円

(3) 併設講習会のみ参加  
正会員, 賛助会員 10,000 円 学生会員 2,000 円 非会員 15,000 円

\*参加費には, 論文集代(本シンポジウム), 資料代(併設講習会)が含まれています。

\*連絡なき欠席の場合にも参加費をいただきます。

○シンポジウム論文集のみ(6,000 円, 送料込) \_\_\_\_\_ 冊

○併設講習会資料のみ (3,000 円, 送料込) \_\_\_\_\_ 冊

○送金方法(該当するものを○で囲む)

合計 \_\_\_\_\_ 円を

a) 当日, 会場受付にて支払います。

b) 現金書留で \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日送金します。

c) 銀行振込(いずれも普通預金口座)で \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日送金します。

1. 第一勧銀新宿西口支店 2049562

2. 三菱銀行虎ノ門公務部 0000608

名義人 東京都新宿区西新宿 1-24-1 社団法人 情報処理学会

送金人名義 \_\_\_\_\_ 様

\*請求書類の必要な方はお申し出ください。

請求書 通, 見積書 通, 納品書 通

請求先 \_\_\_\_\_

注) 申込書は 1 枚 1 人としてください。(コピーで申し込むこと)

○申込先・送金先 (Fax も可)

情報処理学会 シンポジウム係

〒160 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル 27 F

Tel. (03)5322-3535 Fax. (03)5322-3534

(楷書でハッキリ記入してください)

申込者  
連絡先

機関・  
部課名

フリガナ \_\_\_\_\_ 会員番号 \_\_\_\_\_  
氏 名 \_\_\_\_\_ 殿 ( \_\_\_\_\_ )

Tel. \_\_\_\_\_ (ext. \_\_\_\_\_) Fax. \_\_\_\_\_

会 社

# 第24回画像工学コンファレンス

—Japan Imaging Technology '93—

画像工学コンファレンスは1970年に第1回が開催されてから今回で24回を迎えることになりました。その間、関連学会・研究会の共通の研究発表・討論の場として、日本の画像工学の研究開発の発展に大いに寄与してまいりました。本年も新たな発展を期し第24回画像工学コンファレンスを開催することにいたしました。

(1) 特別セッション 『新製品・新システム開発事例』 6件

- 並列光入出力高速画像処理システム SPE-4k
- 高速三次元CGシステム『扉』
- 画像処理による揺れ補正技術 —ブレンドーの開発—
- 高画質デジタルスチルカメラの開発
- 2次元分光測光装置
- レーザーフローグラフィ

(2) 招待講演 6件

(3) 応募による一般講演 (口頭発表と討論が十分にできるポスト講演)

さらに、'93 国際画像機器展 (入場無料) を併催いたします。

関連分野の方々の積極的なご参加を期待いたします。

期 日：1993年12月 8日 (水) 10:30~19:00  
 9日 (木) 9:50~19:00  
 10日 (金) 10:00~18:30

会 場：ABC会館ホール (地下鉄三田線芝公園駅、日比谷寄り出口)  
 東京都港区芝公園2-6-3 ☎03 (3436) 5771

参加費：加盟学会員	12,000円	} 論文集代を含みます
学 生	6,000円	
非 会 員	15,000円	

申込・送金方法：

- (1) 申込期限 1993年11月25日 (木) (これ以後は資料などの余裕がある場合受け付けます。)
- (2) 申込先 〒105 東京都港区浜松町2-12-14 第2日化ビル連企画気付  
 第24回画像工学コンファレンス事務局  
 ☎03 (3433) 2543 FAX 03 (3433) 3904
- (3) 銀行振込の場合 申込書に必要事項をご記入の上、お送りください (FAX可)。  
 お振込みのときは、振込人名 (会社名等) の前に登録番号 (参加受付番号) を必ずご記入ください。  
 三菱銀行・浜松町支店 (018)・普通預金・0135837 口座名「画像工学コンファレンス」
- (4) 郵便振替の場合 東京7-69769 口座名「画像工学コンファレンス」  
 振替用紙の通信欄に、申込書と同じ事項をご記入ください (個人名は必ずお書きください)。  
 (振替用紙を申込書として扱いますので別紙申込書は二重登録になるので送らないでください)

論文集：当日会場でお渡しいたします。欠席者には終了後郵送。論文集のみご希望の方には12,000円で終了後郵送いたします。

主 催：第24回画像工学コンファレンス実行委員会

(担当 電子情報通信学会・パターン認識理解研究専門委員会・画像工学研究専門委員会)

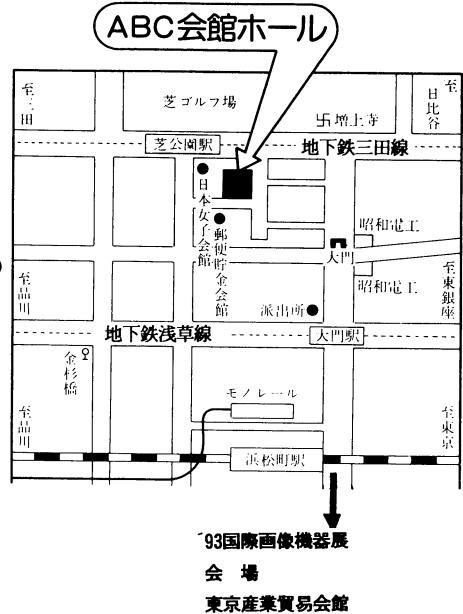
加盟学会・委員会：応用物理学会日本光学会、テレビジョン学会、情報ディスプレイ研究委員会、視覚技術研究委員会、画像通信システム研究委員会、画像処理コンピュータビジョン研究委員会、画像応用研究委員会、電気学会・電子デバイス技術委員会・光子デバイス技術委員会、電子情報通信学会、画像工学研究専門委員会、パターン認識理解研究専門委員会、日本ME学会、画像電子学会、日本写真学会、電子写真学会、日本写真測量学会、情報処理学会、コンピュータビジョン研究会、グラフィックスとCAD研究会、日本印刷学会、レーザー学会、日本医療情報学会、医用画像情報学会、計測自動制御学会・パターン計測部会、日本非破壊検査協会、日本医用画像工学会、SPIE日本支部、三次元映像のフォーラム。

93国際画像機器展 (入場無料)

期日 1993年12月 8日~10日 会場 東京産業貿易会館 (港区・竹芝)

主催 日本画像・計測機器協議会 (☎03-3367-0571)

\*コンファレンス会場と展示会場との間は、無料シャトルバスが走ります。



会 告

## 第24回画像コンファレンス プログラム

### 第1日 12月8日(水) 10:30~19:00

#### 開会の辞(10:30~10:40)

#### 1. HI・入出力デバイス(10:40~13:00)

- 1-1 サイエнтиフィック・ビジュアルイゼーション (招待講演)
- 1-2 視覚障害者用文字提示システムの試作
- 1-3 パラメトリック音源ビームによる文書情報の音響的投影表示
- 1-4 ペンの加速度からの手書き文字パターン再現
- 1-5 ベンベース画像加工機能の試作
- 1-6 パルス幅変調と強度変調を併用したレーザープリンタ用中間調記録方式

- 阿部圭一実行委員長 (静岡大、電子情報通信学会)  
 座長 土井美和子 (東芝)  
 桑原邦郎 (宇宙研)  
 竹崎 学・塩山忠義 (京都市大)  
 野中秀樹・米沢義道・伊東一典・橋本昌巳 (信州大)  
 石川裕記・米沢義道・橋本昌巳・伊東一典 (信州大)  
 細井 隆 (リコー)  
 ○今河 進・江間秀利・竹山佳伸・石田雅章 (リコー)

#### 2. ポスタセッション(1) (13:30~15:00) 7階会議室

#### 2-1 A DISTORTION COMPENSATION METHOD FOR CONICAL HOLOGRAPHIC STEREOGRAM

- L. M. Murillo Mora・K. Okada・T. Honda・J. Tsujiuchi (千葉大)  
 2-2 3次元顔モデルを用いた付属物のある似顔絵の作成 島田英之・塩野 充 (岡山理大)  
 2-3 レンズアレイを用いた並列多重像フーリエ分光映像法 平井亜紀子・井上 卓・伊東一良・一岡芳樹 (阪大)  
 2-4 マルチドット・ホログラフィック・スクリーンを用いた立体像表示 植木勝也 (日立ビルシステム)  
 亀井哲弥 (JSDシステム)  
 越智利夫 (明星大) 大島 章 (日立製作所)  
 2-5 画像地図システム 島 伸和 (富士通テン) 鎌田 洋 (富士通研)  
 植木勝也 (日立ビルシステム) 亀井哲弥 (JSDシステム)  
 2-6 実時間高速道路環境認識システム -ビデオレコーダによる認識と前方認識- 島 伸和 (富士通テン) 鎌田 洋 (富士通研)  
 2-7 カラー画像インデックスの自動作成及びその実験評価 石亀昌明・藤岡豊太・松尾 広 (秋田大) 渡部賢逸 (MTR)  
 2-8 コンピュータグラフィックスによる磁場の可視化計画 橋本光男・佐藤 宏・友田 勝 (職業能力開発大)  
 2-9 人体パラメータを持つファントムの波動CTによる超解像画像再構成 宮下豊勝 (龍谷大)  
 2-10 透過型CTを用いたSPECT画像の吸収補正 神戸紀洋・尾川浩一 (法政大)  
 2-11 Use of Transputers for the Fast Detection Blood Vessels via CCD-IR Images Andrea Kutics・Akihiko Nakagawa (理研)

#### 3. カラー画像(14:00~16:20)

- 3-1 反射モデルを用いた色の処理 (招待講演) 座長 田島讓二 (NEC)  
 富永昌治 (大阪電通大)  
 3-2 Generic Architecture for Colour Data Interchange -ISO/IEC JTC1/SC18/WG5 規格(3)- 前田正浩 (富士ゼロックス) 村井和夫 (リコー)  
 田慮善久 (キヤノン)  
 3-3 彩度、コントラスト、鮮鋭度の調整によるカラー画像の自動画像改善 井上 晃・田島讓二 (NEC)  
 3-4 カラー自然画像からの特定色部分の抜き出し 鎌田正樹・日比哲也・大岡 崇 (拓殖大)  
 3-5 カラー動画から手指動作の実時間認識に関する研究 陳 謙 (イメージ情報科研) 辻 三郎 (阪大)  
 3-6 An Evidential Reasoning Approach to Outdoor Colour Scene Analysis Kenneth H. L. Ho・Kazuo Yamaba (機械技研)

#### 優秀ポスタ賞表彰(16:20~16:40)

#### 4. 医用画像(16:40~19:00)

- 4-1 放射線画像とコンピュータ支援診断 (招待講演) 座長 大山永昭 (東工大)  
 土井邦雄 (シカゴ大)  
 4-2 レーザ光走査型内視鏡を用いた立体計測 小倉 隆・羽石秀昭・三宅洋一 (千葉大)  
 座長 竹内 寛 (コニカ)  
 4-3 内視鏡時系列画像からの3次元形状推定(2) 小田紀彦・山口雅浩・大山永昭 (東工大)  
 長谷川潤・野波徹緒 (オリンパス光学)  
 4-4 光CT顕微鏡における少ない投影方向からの画像再構成 ○松谷章弘・山口雅浩・大山永昭 (東工大)  
 菊池 奨 (オリンパス光学)  
 4-5  $\gamma$ 線の減衰率分布およびポリメータ関数を考慮したSPECT画像再構成手法 三村昌弘・山口雅浩・大山永昭 (東工大)  
 4-6 磁場源の自己相関項のみを用いた生体磁場逆問題の解法 小尾高史・大山永昭・山口雅浩 (東工大)  
 関原謙介 (日立製作所)

### 第2日 12月9日(木) 9:50~19:00

#### 5. 特別セッション-新製品・新システム開発事例-(9:50~13:00)

- 座長 阿部圭一 (静岡大)  
 5-1 並列光入出力高速画像処理システム SPE-4k 石川正俊 (東大)  
 5-2 フォトリソグラフィ機能を備えた高速三次元CGシステム「昇」 佐々木繁 (富士通研)  
 ○魚森謙也・森村 淳・石井浩史 (松下電器)  
 5-3 画像処理による揺れ補正技術-ブレンビーの開発- 磯口成一・高山 淳・皆木隆志 (コニカ)  
 5-4 高画質デジタルスチルカメラの開発 小石 結 (浜松ホトニクス)  
 5-5 2次元分光測光装置 藤居 仁 (九工大)  
 5-6 レーザフログラフィ

## 6. ポスタセッション(2) (13:30~15:00) 7階会議室

- 6-1 ステレオ画像符号化への2次元ウェーブレット変換の応用  
6-2 2次元FFT処理によるレーダロケータ探査画像の画質改善
- 6-3 画像処理を用いたMHDプラズマ噴流の温度分布測定  
6-4 電子光学鏡筒推定特性関数を用いたSEM画質改善手法の開発  
6-5 多値画像・多値構成要素数理解形態学フィルタの学習による設計  
6-6 二次元ロックインアンプによる顕微鏡画像の高コントラスト化
- 6-7 曖昧な記憶からの高速画像検索システム(II)  
6-8 並列ブラインドデコンボリューションによる像回復と太陽像再生への適用
- 6-9 多次元濃淡画像におけるサブボクセル精度のエッジ検出  
6-10 ハール・ウェーブレット変換を用いたエッジ抽出パターン認識  
6-11 1-D Line Permutation Coder for Images  
6-12 GAによる投影からの画像再構成(二値画像)

- 五十嵐雅俊・大竹 敬・福田光一・川中 彰(上智大)  
中山 昇・北村みちる(大阪ガス)  
川中 彰(上智大) 高木幹雄(東大)  
大山裕之・青木義明・宇佐見英明・谷津茂男・粥川尚之(北大)  
市川吉晴・小原正夫(日本テキサスインスツルメント)  
浅野 晃・横関俊介(九工大)  
前野 恭・秋葉 誠・廣本宣久(通信総研)  
高田達雄(武蔵工大)  
○近藤 隆・山口雅浩・大山永昭(東工大)  
迫田真也・田井修市・久間和生(三菱電機)  
大澤健郎・三浦則明・馬場直志(北大)  
小坂田秀之・城 洋一(大阪府立大) 村上 勝(日立製作所)  
野村孝徳・平野浩太郎(神戸大) 広石昭彦(松下電工)  
季 仲舒・呉松保男・北村新三(神戸大)  
中田順一郎・尾川浩一(法政大)

## 7. 光情報処理(14:00~16:00)

- 7-1 有機色素膜を用いた光情報処理(招待講演)  
7-2 液晶パネルを用いた複素相関演算によるカラー相関システム
- 7-3 偏光による光沢成分の除去  
7-4 光アレイ映像系の結像アルゴリズム  
7-5 LEDを用いた3次元計測システムによる人間の活動状態解析

- 座長 豊岡 了(埼玉大)  
藤原裕文(室蘭工大)  
○角田 貢・今井 浩・山口雅浩・大山永昭(東工大)  
本田捷夫(千葉大)  
山田啓一・中野倫明・山本 新(豊田中研)  
池田 修(拓殖大)  
浅野昌和・蚊野 浩・河田 宏・福島清司(三洋電機)

## 優秀ポスタ賞表彰(16:00~16:20)

## 8. 三次元表示・CG(16:20~19:00)

- 8-1 レンディキュラスクリンを用いた立体表示(招待講演)  
8-2 電子ホログラフィシステムにおけるCGH計算の高速化
- 8-3 電子ホログラフィによる立体画像生成システム
- 8-4 ナビゲーションシステムの評価における3次元CGの利用  
8-5 視点からの距離による樹木データの階層化  
8-6 仮想服飾環境PARTY -ワビ-の構築  
8-7 体積走査型ディスプレイを用いた3次元手術シミュレーションシステム

- 座長 澤田順夫(東芝)  
鉄谷信二(ATR通信研)  
西田英志・中村 正・高橋秀也・志水英二(大阪市立大)  
秦間健司(イメージ情報科学研)  
岡本秀樹・上田裕昭・秦間健司(イメージ情報科学研)  
中村 正・高橋秀也・志水英二(大阪市立大)  
天目健二・下浦 弘(住友電工)  
桑原教彰・鉄谷信二・森井精啓・岸野文郎(ATR通信研)  
坂口嘉之(東洋紡) 美濃導彦・池田克夫(京大)  
亀山研一・大富浩一・大橋剛南(東芝)  
伊関 洋・小林直紀・高倉公朋(東京女医大)

## 第3日 12月10日(金) 10:00~18:30

## 9. CV・認識・理解(10:00~12:50)

- 9-1 デジタルビデオ通信(招待講演)  
9-2 動物体追跡処理LSIの試作  
9-3 動画処理プラットフォームの提案  
9-4 歩行画像の切り出しと男女識別法の一検討  
9-5 野球ボール飛跡観測のための探索領域追跡  
9-6 鉄道における屋外画像監視のための基礎的検討 型駆動に基いた理解の抽出  
9-7 運動視による奥行情報の抽出

- 座長 井宮 淳(千葉大)  
笠原久嗣(NTT)  
土屋敏雄・藤野雄一・小倉 武(NTT)  
富樫雄一・福田 浩・大波多元(東芝)  
数藤恭子・大和淳司・伴野 明・石井健一郎(NTT)  
村井祐一・山本和弥・野田健一(拓殖大)  
笹間 宏・鶴飼正人・太田 勝・宮本岳史(鉄道総研)  
五十嵐智(明星大) 生出真理・福澤真樹・  
阿刀田央一・斎藤延男(東農工大)

## 10. ポスタセッション(3) (13:30~15:00) 7階会議室

- 10-1 化粧肌の質感解析-しみの見えの定量化-  
10-2 図形近傍における視知覚減少効果の心理実験結果の解析  
10-3 運転中のドライバの視線検出  
10-4 シェアード回折パターンを用いた3次元物体形状識別と計測  
10-5 多次元画像データのクラスター解析  
10-6 線素成分を参照パターンに用いたパターン認識の研究  
10-7 ノイズを含む文字のハイブリッド認識システムの研究 -ニューラルネットを用いた方法-  
10-8 パターン間の非共通部分要素による文字認識システムの研究(II)  
10-9 補色型色差線順次方式を用いた撮像系の空間周波数特性  
10-10 高速色変換プロセッサ(MN5511)によるカラー画像処理  
10-11 カラーとテクスチャーを利用した人物像の衣服解析

- 福増玲子・小島伸俊・三浦俊文・羽石秀昭・三宅洋一(千葉大)  
深水義之・伊藤 明・吉田登美男・野田健一(拓殖大)  
中野倫明・水野守倫・山本 新(豊田中研)  
竹崎重郎(湘南工大)  
前間英一郎・森 正寿(近畿大九州)  
○小林光明・中澤真康・亀丸俊一(茨城大)  
伊藤義之・亀丸俊一(茨城大) 馬場 勉(三協精機)  
中澤真康・亀丸俊一(茨城大)  
藤田 寛・関口 正・吉永恵美(東芝)  
龍 照夫・金森克洋・山田 修・本村秀人・  
小寺宏暉(松下技研) 井上 誠(松下電子)  
塚元富一郎(富士通九州Eng) 石川聖二・加藤清史(九工大)

## 11. 画像処理(1) (14:00~16:00)

- 11-1 ブラインド超解像:エッジ情報を用いたボケ画像修復  
11-2 エッジ適応型反復法による劣化画像の復元  
11-3 等価空間不変型点拡がり関数を利用した適応的画像復元法  
11-4 音響的フーリエ変換を用いた物体識別  
11-5 3次元テンソル積展開を用いたプリント基板の欠陥検出

- 座長 村上伸一(東京電機大)  
○西 一樹(電通大) 安藤 繁(東大)  
藤田和弘・山本直子・吉田晴夫(京都工織大)  
原 義典・近藤 浩(九工大)  
本田 正・斎藤敦久・中島真人(慶應大)  
強力健史・田所嘉昭(豊橋技科大) 村上 純(熊本電波高専)

11-6 2D-FFTを用いた手書き漢字認識

濱中淳一・塩山忠義(京都工繊大)

優秀ポスタ賞表彰(16:00~16:20)

12. 画像処理(2)(16:20~18:20)

12-1 Gray-scale画像のMorphologyハードウェア

12-2 SAR画像のスペックルフィルタリング

12-3 画像における階層的領域抽出

12-4 地中探査レーダにおける深度方向ブロック化マイグレーション法

12-5 直交変換技法と適応的な空間フィルターの使用による再生画像の定量的な評価

12-6 化粧品肌の質感推定-肌の凹凸の見えるの定量化-

座長 全 柄東(東京商船大)

小島昭二・宮川達夫(静岡大)

細村 幸・Champika W. Jayasekera(金沢工大)

後澤尚人(凸版印刷)

許 光秀・川中 彰(上智大)

中山 昇(大阪ガス) 高木幹雄(東大)

飯塚昌之・竹内 誠(東京工芸大)

小島伸俊・羽石秀昭・三宅洋一(千葉大)

閉会の辞(18:20~18:30)

第25回画像工学コンファレンス実行委員長(情報処理学会)

講演時間(質疑応答を含む)

特別セッション 30分

招待講演 40分

一般講演 20分

ポスタセッション 90分(7階会議室)

第24回画像工学コンファレンス -Japan Imaging Technology '93- 参加申込書

氏名 (複数記入可)							
連絡先							
☎			FAX				
所在地 〒							
機 関・所属名							
資 格	会 員	非会員	学 生	送 金 額 (予定) ¥			
所属学会(所属するすべての学会に○印をつけてください)							
応物光学	テレビ	電 気	電子情報通信	M E	画像電子	写 真	電子写真
写真測量	情報処理	印 刷	レーザ	医療情報	医用画像	計測制御	非破壊検査
JAMIT	SPIE	三次元映像フォーラム					



## 「第35回 プログラミング・シンポジウム」開催のお知らせ

自由な雰囲気の中で計算機の無限の可能性を討論し、開拓することを目指した「プログラミング・シンポジウム」が今年度も下記のとおり開催されます。今回は特に新しい計算モデル、ユーザインターフェイスなどの分野の発表が多く、夜のテーマ別自由討論を含めて活発な討議が期待されます。興味をお持ちの方の広範な参加を期待します。

参加ご希望の方は、期日までに所要事項を申込書に記入の上お申し込みください。

### — 記 —

日 時 1994年1月11日(火) 午前11時 受付開始(この日の昼食は用意しません)  
午後1時開会  
13日(木) 正午 閉会

場 所 箱根 ホテル小涌園(神奈川県足柄下郡箱根町二の平1297) Tel. 0460(2)4111

交 通 路線バス: 小田原駅表口<登山バス>箱根町行~小涌園前 約40分  
箱根湯本駅~小涌園前 約30分  
タクシー: 小田原駅表口~小涌園前 約30分  
箱根湯本駅~小涌園前 約20分

参加費 (予稿集代、宿泊費、食費を含む。括弧内は非会員参加費)  
☆一般 43,000円(48,000円)  
☆大学院学生 30,000円(35,000円)  
※二つ以上の身分をお持ちの場合は、高い方の会費を適用させていただきます。

申込締切 1993年11月30日(火)

- 注) 1. 参加申込後、やむを得ず参加を取消される場合は12月16日(木)までにお願ひします。取消の連絡の無い場合は、準備の都合上、参加費を徴収させていただきます。事情による代理の方の参加は認めず。  
2. 会場、宿泊施設の都合で、お申込に応じかねる場合がありますので、あらかじめご了承ください。  
3. 同一所属からの参加者数は適宜にご調整下さい。  
4. 開催期間中での中途での出入りや、人員の交替はご遠慮下さい。

### — プログラム —

☆☆第1日 1月11日(火)  
開会の辞(13:00~13:15)

セッション1(13:15~15:15)

- ◇OSの教育システムについて 並木 美太郎、早川 栄一、高橋 延匡(農工大)
  - ◇パソコンの組み立て方教えます 粕川 正充(筑波大)
  - ◇計算機実習の実態調査 —事象時刻データから何がわかるか?— 角田 博保(電通大)
- 休憩(15:15~15:35) —

セッション2(13:15~17:35)

- ◇パイプラインとキャッシュを活用するためのプログラミング技法 前野 年紀、太田 昌孝(東工大)
  - ◇力学モデルによる超並列指向文字認識のいくつかの可能性  
Rodney G. Webster、永岡 健、寺村 健、中川 正樹(農工大)
  - ◇SSA(Static Single Assignment)形式を使った最適化コンパイラ 佐藤 三久(電総研)
- 夕食(18:00~19:00) —

自由討論(19:30~)

☆☆ 第2日1月12日(水)

セッション3(9:00~10:20)

◇計算機特徴に合わせた並列アルゴリズムの最適分割数

須崎 有康、栗田 多喜夫、田沼 均、平野 聡、一杉 裕志(電総研)

◇グラフ構造理解のための単純無向グラフの自動描画アルゴリズム

鈴木 和彦(慶大)

— 休憩(10:20~10:40) —

セッション4(10:40~12:00)

◇ダイヤルトーンを用いた計算機アクセスシステム

本間 一也、矢吹 道郎(上智大)

◇マルチモーダル・ヒューマンインターフェースの試み

安村 通晃(慶大)

— 昼食(12:00~13:20) —

招待講演(13:20~14:50)

◇脳とコンピュータ

電総研 松本 元

— 休憩(14:50~15:10) —

セッション5(15:10~17:10)

◇視線ポインティングデバイスの試作と評価 - 目は口ほどにものをいうか? -

赤池 英夫、角田 博保、飯島 純一(電通大)

◇ユーザ・インターフェースの独立

立山 義祐、寺田 実(東大)

◇アイコンは投げられるか?

久野 靖、大木 敦雄(筑波大)、角田 博保(電通大)、粕川 正充(筑波大)

報告(17:10~17:30)

◇夏のシンポジウム、GPCC、山内賞の報告

— 夕食(18:00~19:00) —

自由討論(19:30~)

☆☆ 第3日1月14日(木)

セッション6(9:00~10:20)

◇生命的創発プログラミング — Emergent Programming as Life —

米澤 保雄(愛知技術短大)

◇仮想生物を利用したシミュレーション・システム

金磯 善博(インテリジェント・テクノロジー)、

平野 一路( )、美馬 のゆり、広田 光一、里美 充則(東大)

— 休憩(10:20~10:40) —

セッション7(10:40~12:00)

◇化学結合論を metaphor とする情報の代謝モデル

永山 辰巳(ソニーコンピュータサイエンス研究所)

◇有機プログラミング事始め

中島 秀之(電総研)

閉会の辞(12:00~12:15)

米田委員長

— 昼食(12:15~13:00) —

※ポスターセッション、デモンストレーションなどの場を用意しています。自由に御活用下さい。展示ご希望の方は当日御用意下さい。

※一般講演は発表25分、討論15分を予定しています。なお、日程については若干の変更があるかも知れません。

※自由討論のテーマは参加者からアイデアを募り、当日決定します。奮ってご参加下さい。

※最終日は閉会后、昼食の用意をしています。

「第35回プログラミング・シンポジウム」

参加申込書

平成5年 月 日

1. 参加区分 会 員 非会員 会員番号 \_\_\_\_\_  
 ☆一般    
 ☆大学院学生

※参加区分は、該当の□の中にレを入れてください。さらに情報処理学会会員の方は、会員番号もご記入ください。

2. 送金、支払い方法

a) 当日持参します。

b) ¥ \_\_\_\_\_ 也を次の方法で送金します。(送金日 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日)

b-1) 現金書留    b-2) 郵便振替 (東京 5-83484)    b-3) 銀行振込 ( \_\_\_\_\_ 銀行宛)

銀行振込口座番号 (いずれも普通預金)

第一勧銀新宿西口支店 2049562    三菱銀行虎ノ門公務部 0000608

名義人: 社団法人 情報処理学会

請求書類の必要な方はお申し出ください。

請求書 \_\_\_\_\_ 通, 見積書 \_\_\_\_\_ 通, 納品書 \_\_\_\_\_ 通

請求先名義 \_\_\_\_\_

3. 次の各項目は部屋割の資料として使います。

◇年齢は \_\_\_\_\_ 歳・内緒    男・女

◇宿泊室は    喫煙室希望・禁煙室希望

◇そのほか特に希望があればご記入ください。(必ずその通りにすると約束はできません。)

4. 次の各項目はシンポジウム運営の参考にします。

◇夜の自由討論の希望テーマ \_\_\_\_\_

◇マイコン・ビデオデモなどの展示, 発表希望 \_\_\_\_\_

5. 申込み先 (下記まで郵送か Fax で送付のこと)

情報処理学会「プログラミング・シンポジウム」係

〒160 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル 27 階

Tel. (03)5322-3535 Fax. (03)5322-3534

申込者  
連絡先〒 \_\_\_\_\_

機関・  
部課名 \_\_\_\_\_

フリガナ  
氏 名 \_\_\_\_\_ 殿

Tel. \_\_\_\_\_ (ext. \_\_\_\_\_) Fax. \_\_\_\_\_

e-mail \_\_\_\_\_ (公開可能な方のみ)

注) 枠内をコピーして宛先として案内を郵送できるようご記入ください。

# 「連続セミナー93」参加申込/議事録バックナンバー申込書

1993年 月 日

標記セミナーの参加を下記によって申し込みます。(申込書は1人1枚としてください)

### ◎参加費(1回分)

正会員, 賛助会員 18,000円 非会員 25,000円 学生会員 2,500円

第 回連続セミナーに参加します。

☆参加費には資料代が含まれています。

### ◎議事録のみ(1回分)

91年度 会員 20,000円(1冊) 非会員 25,000円(1冊)

- 第1回 パーソナルコンピュータとワークステーションの90年代の課題 \_\_\_\_\_冊
- 第2回 パーソナルコンピュータとワークステーションのマルチ、ハイパーメディア化 \_\_\_\_\_冊
- 第3回 CISC対RISC CPUのこれから \_\_\_\_\_冊
- 第4回 DOSとUNIXとソフトウェアツールのこれから \_\_\_\_\_冊
- 第5回 インターパーソナル・コンピューティングのこれから \_\_\_\_\_冊
- 第6回 2001年のパーソナルマシン \_\_\_\_\_冊

92年度 会員 25,000円(1冊) 非会員 30,000円(1冊)

- 第1回 ダウンサイジングとオープン化の課題 \_\_\_\_\_冊
- 第2回 マルチメディアコンピューティングの課題 \_\_\_\_\_冊
- 第3回 パソコンの新入力方式のインパクト \_\_\_\_\_冊
- 第4回 オブジェクト指向アプリケーションをとりまく環境 \_\_\_\_\_冊
- 第5回 分散コンピューティングの進展 \_\_\_\_\_冊
- 第6回 硬軟技術限界予測 \_\_\_\_\_冊

93年度 資料代 5,000円(1冊)

- 第1回 CASEの問題点と今後の方向 \_\_\_\_\_冊
- 第2回 社会と文化とグループウェア \_\_\_\_\_冊
- 第3回 コンピュータネットワークの今後 \_\_\_\_\_冊

### ◎送金方法

☆合計 \_\_\_\_\_円を

a) 当日、会場受付にて支払います

b) 銀行振込(いずれも普通預金口座)で

第一勧業銀行新宿西口支店 2049562

三菱銀行虎ノ門公務部 0000608

名義人 東京都新宿区西新宿 1-24-1 社団法人 情報処理学会

送金取扱銀行 \_\_\_\_\_ 銀行 \_\_\_\_\_ 支店

送金人名義 \_\_\_\_\_

\* 請求書類の必要な方はお申し出ください。

請求書 通, 見積書 通, 納品書 通

請求先 \_\_\_\_\_

\* 分割でのお支払いも可能です。

分割希望回数 \_\_\_\_\_回

送金予定 \_\_\_\_\_

申込先・送金先 情報処理学会連続セミナー係(Fax.も可)

〒160 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル 27F

Tel. (03) 5322-3535 Fax. (03) 5322-3534

(楷書でハッキリ記入してください)

申込者

連絡先 〒

機関・

部課名

フリガナ

氏名

殿(会員番号 )

Tel.

(ext.

) Fax.



## 変更事項のご連絡について (お願い)

お届けいただいた事項に変更のある方は、必ず所定の「変更連絡届」用紙にて(本号巻末に添付)ご連絡ください。特に送本先住所等の変更は、早急にご連絡いただきますようご協力ください。

変更の受け付けは毎月20日に締切り、翌月号から変更いたします。21日以降受け付けの変更は翌々月号からとなりますのでご注意ください。

## 本会協賛等の行事案内\*

### <国内会議>

音声対話理解シンポジウム

平成5年11月13日(土)

東京・早稲田大学

第10回ファジィシステムシンポジウム

平成6年6月1日(水)～4日(土)

大阪・関西大学100周年記念会館

ソフトウェア・シンポジウム'94

平成6年6月15日(水)～17日(金)

北海道・金森ホール

### <国際会議>

第1回人工物工学国際シンポジウム

1993年10月26日(火)～28日(木)

東京大学大講堂

'93国際先端ロボット技術会議

1993年11月1日(月)～2日(水)

東京・経団連会館

第24回国際産業用ロボットシンポジウム

1993年11月4日(木)～6日(土)

東京・経団連会館

アジア学術会議

1993年11月15日(月)～18日(木)

東京・三田共用会議所

第10回トロンプロジェクト国際シンポジウム

1993年12月1日(水)～2日(土)

東京・TEPIA

'94 FRIEND 21国際シンポジウム

1994年2月2日(水)～4日(金)

東京・目黒雅叙園

TACS '94-Int'1. Symposium on Theoretical Aspects of Computer Software

1994年4月19日～21日

東北大学工学部青葉記念会館

QR '94-第8回 定性推論国際ワークショップ

1994年6月7日～10日

奈良県新公会堂

\*詳細は本号会議案内欄参照

## 本会名を使った勧誘にご注意ください

最近本会の名称を無断で使用し、物品・会員権の販売、セミナー等会合への勧誘が横行しております。相手先の判明したものについては厳重抗議いたしておりますが、会員各位におかれましても被害にあわないよう、十分にご注意ください。

なお、本会では会員データ・会員名簿の管理・取扱いは厳正・厳重に行っております。

また、本会が主催・共催・協賛した行事等については、必ず学会誌会告にてお知らせいたします。

[事務局長 飯塚 浩司]

## 支部だより

## 東海支部 講演会

日時 平成5年10月22日(金) 13:30~15:30  
 場所 名古屋工業大学附属図書館(名古屋市昭和区御器所町)  
 演題 「Iterative Belief revision: it's relation to logic-based scheduling (仮題)」  
 Randy Goebel (東大/Alberta大(カナダ\*))  
 参加費 無料(参加資格は問いません)  
 問合せ先 情報処理学会東海支部 Tel.(052)204-4517

## セミナー「第5世代コンピュータ」

日時 平成5年11月10日(水) 13:20~17:00  
 場所 愛知県産業貿易館 本館4F 第4会議室(名古屋市中区丸の内3-1-6)  
 プログラム 13:20 開会挨拶 山下 和司(中部科学技術センター)  
 13:25~13:30 来賓挨拶 中部通商産業局  
 13:30~16:40 セミナー  
 コーディネータ 山田 博(東海支部長)  
 基調講演 11年の総括と展望 淵 一博(東大)  
 第5世代技術の概要とその新しい応用分野 内田 俊一(ICOT)  
 大規模並列記号処理技術とその普及に向けて 近山 隆(ICOT)  
 16:40~17:00 まとめおよび質疑応答  
 17:00 閉会  
 定員 200名(参加者多数の場合は申込先着順)  
 参加費 無料  
 申込方法 所定の申込書により10月31日までに郵送またはFaxによる。  
 申込・問合せ先 〒460 名古屋市中区栄2-17-22 (財)中部科学技術センター(事業部:阿部・日置・深川)  
 Tel.(052)231-3043 Fax.(052)204-1469  
 (社)中部産業連盟, 中日新聞社, (財)中部科学技術センター共催

## 見学会

日時 平成5年12月2日(木)~3日(金)  
 見学先 ・国立天文台野辺山宇宙電波観測所 施設  
 (長野県南佐久郡南牧村野辺山411 Tel.(0267)63-4300(代))  
 ・山梨大学工学部 移動ロボット研究室 研究説明および屋外実演  
 (山梨県甲府市武田4丁目 Tel.(0552)52-1111(代))  
 集合場所 地下鉄東山線本郷駅北口(出たところ)に8:20までに集合(時間厳守)  
 行程  
 2日(木) 8:30 出発(貸切りバス)  
 13:30~15:30 国立天文台野辺山宇宙電波観測所 施設見学  
 17:00頃 蓼科セミナーハウス (泊)  
 3日(金) 8:15 蓼科セミナーハウス 出発  
 10:30~14:30 山梨大学工学部 移動ロボット研究室他 見学  
 19:30頃 地下鉄東山線本郷駅 解散  
 参加資格 情報処理学会東海支部会員に限る。  
 参加費 7,000円(宿泊代および1日目の昼・夕食, 2日目の朝・昼食を含む)  
 参加章が届き次第すぐに下記銀行口座へお振込願います。  
 さくら銀行名古屋支店(普)5552049 (社)情報処理学会東海支部

- 定員 50名(先着順)  
 申込方法 往復ハガキに「天文台・山梨大見学会申込み」と記入し、①会員番号、②氏名、③勤務先・所属(役職)、④連絡先住所・電話番号、⑤参加費送金日を明記のうえ、下記宛へ送付する。  
 申込締切 11月8日(月)必着  
 その他 ・宿泊先住所:長野県茅野市豊平字東嶽三井の森内 蓼科セミナーハウス Tel.(0266)76-5539  
 ・申込取消料は下記のとおり(ただし返金時の送金料は別途徴収)

取消時期	取消料
11/22(月)以前	なし
11/24(水)～11/30(火)	¥2,000
12/1(水)以降	全額¥7,000

申込・問合せ先 〒460 名古屋市中区錦2-17-21 NTT DATA 東銀ビル NTT データ通信(株)東海支社内  
 情報処理学会東海支部事務局 Tel.(052)204-4517

## 北陸支部 講演会

- 日時 平成5年12月6日(月)13:30～15:00  
 場所 インテック大山研修所  
 演題 ソフトウェア工学における知識工学の役割 落水浩一郎(北陸先端大)  
 参加費 無料(参加資格は問いません)  
 問合せ先 〒920 金沢市小立野2-40-20 金沢大学工学部電気・情報工学科内 情報処理学会北陸支部事務局  
 Tel.(0762)61-2101(ext.332) または 〒930 富山市下新町3-23(株)インテック・システム研究所  
 北野孝一 Tel.(0764)32-1285(ext.3650)

## 講演会

- 日時 平成5年11月15日(月)15:00～17:00  
 場所 福井工業高等専門学校 視聴覚室  
 演題 文書画像理解 渡辺 豊英(名大)  
 問合せ先 〒916 鯖江市下司町 福井工業高等専門学校 守川 稜 Tel.(0778)62-1111

## 特許関係の論文発表証明手数料について

特許関係の論文発表証明書は、会員(賛助会社を含む)は無料ですが、会員外からは、1件につき1,000円の手数料を徴収します。なお、会員からの依頼を業者が代行する場合は、その業者は会員外として取り扱います。

注) 1. 会員、会員外を問わず、郵送で申し込む場合は、必ず返信用封筒(切手添付)を同封してください。

2. 手数料1,000円の送金方法

郵便振替口座 東京 5-83484

銀行振込(いずれも普通預金口座)

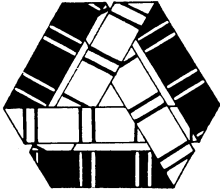
第一勧銀新宿西口支店 2049562 三菱銀行虎ノ門公務部 000608

名義人 〒160 東京都新宿区西新宿1-24-1 エステック情報ビル27階

(社)情報処理学会 Tel.(03)5322-3535



## 会議案内



各会議末のコードは、整理番号です (\* : 本年既掲載分, \*\* : 昨年既掲載分)。会議の詳細を知りたい方は、学会事務局へ切手 72 円を同封のうえ、請求ください。  
(国内連絡先が記載されている場合は除く。)

1.開催日, 2.会場, 3.問合せ先, 4.その他

## 国際会議

### 第1回 人工物工学国際シンポジウム (057)

- 1993年10月26日(火)~28日(木)
- 東京大学大講堂
- 東京大学人工物工学研究センター  
人工物工学国際シンポジウム事務局  
Tel.(03)5802-2908 Fax.(03)3815-8393
- 参加費: 無料

### '93 国際先端ロボット技術会議 (058)

- 1993年11月1日(月)~2日(火)
- 経団連会館
- (社)日本産業用ロボット工業会  
Tel.(03)3434-2919 Fax.(03)3578-1404

### 第24回 国際産業用ロボットシンポジウム (059)

- 1993年11月4日(木)~6日(土)
- 経団連会館
- (社)日本産業用ロボット工業会  
Tel.(03)3434-2919 Fax.(03)3578-1404

### IEEE 5th Int'l. Conf. on Tools with Artificial Intelligence (\* 006)

- 1993年11月8日(月)~11日(木)
- Cambridge(Boston), U.S.A.
- 富士通(株)ビジネス通信事業本部 青山 幹雄  
Tel.(044)754-4111 Fax.(044)754-4223  
e-mail: mikio@miki.nakahara.fujitsu.co.jp

### アジア学術会議 (060)

- 1993年11月15日(月)~18日(木)
- 三田共用会議所(東京都港区)
- 日本学術会議事務局情報国際課  
国際会議係  
Tel.(03)3403-6291 (ext. 254, 255)

### 第10回 トロンプロジェクト国際シンポジウム-The 10th TRON Project Int'l. Symposium (061)

- 1993年12月1日(水)~12月3日(金)
- TEPIA ホール(地下鉄 外苑前下車)

3. 社団法人 トロン協会 国際シンポジウム担当  
Tel.(03)3454-3191 Fax.(03)3454-3224
4. トロン協会会員, IEEE 会員 50,000 円,  
一般 80,000 円, 学生 10,000 円

### '94 FRIEND 21 国際シンポジウム (062)

- 1994年2月2日(水)~4日(金)
- 目黒雅叙園
- (財)パーソナル情報環境協会  
Tel.(03)3507-0791 Fax.(03)3507-0921

### INDC'94-Int'l. Conf. on Information Networks and Data Communications (063)

- April 18-21, 1994
- Portugal
- Prof. Pedro Veiga  
University of Lisbon and INESC  
Rua Alves Redol, 9  
1000 LISBOA  
PORTUGAL  
e-mail: pedro.veiga @ inesc.pt
- Deadline for submission: November 15, 1993

### TACS'94-Int'l. Symposium on Theoretical Aspects of Computer Software (064)

- 1994年4月19日~21日
- 東北大学工学部青葉記念会館
- 東北大学情報科学研究科 情報基礎科学専攻  
伊藤 貴康 Tel.(022)222-1800 (ext.4269)

### 5th IEEE COMSOC Workshop Multimedia '94 (065)

- May 17-19, 1994
- Kyoto, Japan
- NTT 通信網総合研究所 相原 憲一  
Tel.(0422)59-2595 Fax.(0422)59-2672
- アブストラクト締切: November 1, 1993

### QR'94-第8回定性推論国際ワークショップ (066)

- 1994年6月7日~10日
- 奈良県新公会堂
- 奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科  
西田 豊明  
Tel.(07437)2-5260 Fax.(07437)2-5219
- 論文提出期限: 1994年1月15日

### WWDU'94-4th Int'l. Scientific Conf. Work with Display Units (067)

- October 2-5, 1994
- Milano, Italy
- AES Congressi S.r.l.  
20139 MILANO-Via Scheiwiller, 1  
Tel: +39 (2) 55210523-57403891-5457203  
Fax: +39 (2) 57400473
- Receipt of abstracts: November 30, 1993

国内会議

エンジニアリングシンポジウム '93

1. 1993年11月11日(木)～12日(金)
2. 東京商工会議所ビル(千代田区丸の内)
3. (財)エンジニアリング振興協会 シンポジウム事務局  
Tel.(03)3502-4441 Fax.(03)3502-5500
4. 参加費: 20,600円

音声対話理解シンポジウム

1. 平成5年11月13日(土)
2. 早稲田大学総合学術情報センター
3. 京都大学工学部 情報工学教室  
堂下 修司 Tel.(075)753-5376
4. 参加費: 無料

第22回国際会議のための準備セミナー

1. 1993年11月20日(土)～21日(日)
2. 海外職業訓練センター研修施設(千葉市美浜区ひび野)
3. (社)日本工学会  
Tel.(03)3475-4621, 5618 Fax.(03)3403-1738
4. 参加費: 80,000円

第12回 光波センシング技術研究会

1. 1993年12月15日(水)～16日(木)
2. 川崎市産業振興会館
3. 連企画気付 光波センシング技術研究会  
Tel.(03)3433-2543 Fax.(03)3433-3904
4. 参加費: 一般10,000円, 学生2,000円

理研シンポジウム「データベースにおける変革」

1. 平成5年12月21日(火)
2. 理化学研究所 和光本所(埼玉県和光市広沢)
3. 理化学研究所 ライフサイエンス研究情報室  
Tel.(048)462-1111 Fax.(048)462-4618  
e-mail: sugawara@viora.riken.go.jp

第10回 ファジィシステムシンポジウム(記念大会)

1. 平成6年6月1日(水)～4日(土)
2. 関西大学100周年記念会館(大阪府吹田市)
3. 日本ファジィ学会事務局 Tel.(045)212-8253
4. 参加料: 会員10,000円, 協賛学会員12,000円, 学生4,000円

ソフトウェア・シンポジウム '94

1. 1994年6月15日(水)～17日(金)
2. 金森ホール(北海道函館市)
3. 主催: ソフトウェア技術者協会  
論文送付先: 筑波大学大学院経営システム科学  
玉井 哲雄 Tel.(03)3942-6869  
e-mail: tamai@gssm, otsuka, tsukuba.ac.jp
4. 論文応募締切: 1993年12月17日

教官募集



○大学等情報関係教官募集

筑波技術短期大学電子情報学科

- 募集人員 助教授, または助手1名  
所属 電子情報学科電子工学専攻  
専門分野 電子・通信・情報工学およびその関連分野  
担当科目 (予定)情報工学概論, プログラミング実習, 電子工学基礎実験, 情報数学等の基礎教育を担当する  
応募資格 上記専門分野において, 十分に学生を教育・指導できるとともに, 聴覚障害者教育に熱意のあること  
着任時期 平成6年4月1日  
提出書類 履歴書, 研究業績リスト, 主要論文(2編程度)別刷(2部), 推薦書または本人に関する所見を求め得る方の氏名・連絡先(2名)  
応募締切 平成5年11月20日  
送付先 〒305 つくば市天久保4-3-15  
筑波技術短期大学庶務課人事係

- 問合せ先 電子情報学科電子工学専攻 加藤雄士  
Tel.(0298)58-9384 Fax.(0298)58-9394  
その他 なお, 本学科は聴覚障害者の教育を行うので, 手話等のコミュニケーション手段を有するか, または着任後速やかに修得されることを希望する

群馬大学工学部情報工学科

- 募集人員 教授1名, 助教授2名, 助手3名  
専門分野 オペレーティングシステム, プログラミング言語, 計算機アーキテクチャ, 並列処理, 分散計算機環境, ソフトウェア設計論等の分野, ならびにこれらに関連する実際のシステムの構築関係  
応募資格 教授, 助教授は博士号取得者で計算機工学, 情報工学を専門とする方  
着任時期 平成6年4月1日(予定)  
提出書類 履歴書, 研究業績リスト, 主要論文別刷, 教育・研究に対する抱負(800字程度)  
応募締切 平成5年11月30日  
送付先 〒376 桐生市天神町1-5-1  
問合せ先 群馬大学工学部情報工学科 金森吉成  
Tel.(0277)22-3181(ext.836) Fax.(0277)47-3051  
e-mail:kanamori@cs.gunma-u.ac.jp

八代工業高等専門学校情報電子工学科

- 募集人員 助手1名  
専門分野 電子工学・情報工学あるいは電気関連分野  
応募資格 修士課程修了以上で28～35歳位の方  
着任時期 平成6年4月1日  
提出書類 履歴書, 研究業績リスト, 主要論文コピー  
応募締切 平成5年11月30日  
送付先 〒866 八代市平山新町2627

問合せ先 八代工業高等専門学校情報電子工学科  
主任 村田勝昭 Tel.(0965)35-1611  
Fax.(0965)33-0616

#### 名古屋文理短期大学情報処理学科

募集人員 助手、講師、助教または教授1~2名  
専門分野 ソフトウェア科学等情報処理関連分野  
応募資格 大学院修士課程修了または同等以上の方、経歴・  
業績により上記ポストを決定します  
着任時期 平成6年4月1日  
提出書類 履歴書、研究業績リスト、主要論文別刷、教育に  
関する所見(原稿用紙4枚程度)  
応募締切 平成5年12月5日  
送付先 〒492 稲沢市稲沢町前田 365  
問合せ先 名古屋文理短期大学人事課  
Tel.(0587)23-2400

#### 福井大学工学部情報工学科

募集人員 助手1名  
所属 情報システム講座  
専門分野 応用ソフトウェア、人工知能等の関連分野  
応募資格 博士号取得者で30歳位までの方  
着任時期 決定後なるべく早い時期  
提出書類 履歴書、研究業績リスト、主要論文別刷、これま  
での簡単な研究経過および上記専門分野における  
研究計画  
応募締切 平成5年12月15日(適任者が見つかり次第締め  
切ることがあります)  
送付先 〒910 福井市文京3-9-1  
問合せ先 福井大学工学部情報工学科主任 小倉久和  
「教官応募書類」と朱書き書留  
Tel.(0776)23-0500 (ext.2615)

#### 愛知技術短期大学

募集人員 教授若干名  
所属 工学部電子情報学科(4年制大学へ改組転換後)  
専門分野 情報処理、情報工学、情報通信、電子制御工学  
応募資格 教授の資格に相当する十分な教育歴または教育研  
究実績を有する満69歳(平成8年4月1日時点)  
以下の方  
着任時期 平成8年4月から平成10年4月までの期間で、本  
人が希望する時期  
提出書類 履歴書、研究業績リスト  
応募締切 平成5年12月20日  
送付先 〒456 名古屋市熱田区神宮4-7-21  
問合せ先 学校法人電波学園本部大学準備室  
Tel.(052)681-2299 Fax.(052)682-3017  
その他 本学は4年制大学への改組転換申請を予定してい  
ます

#### 鹿児島大学工学部情報工学科

募集人員 助教授1名  
所属 応用生体情報工学講座  
専門分野 生体情報工学、計算機応用、電子回路応用、人工  
知能等  
応募資格 博士号取得者で40歳以下が望ましい  
着任時期 平成6年4月1日  
提出書類 履歴書、研究業績リスト、発論文別刷、健康診  
断書(書式がありますのでご請求下さい)、推薦書  
応募締切 平成5年12月24日  
送付先 〒890 鹿児島市郡元1-21-40  
問合せ先 鹿児島大学工学部情報工学科主任 長澤庸二  
Tel.(0992)85-8440 Fax.(0992)85-8464  
応用生体情報工学講座 行田尚義  
Tel.(0992)85-8443 Fax.(0992)85-8464

## 雑 報



### ○(財)電気通信普及財団「平成5年度研究調査助成」 募集

電気通信に関する法律、経済、社会、文化的研究調査および  
電気通信技術の振興、普及に関する研究調査を助成します。詳  
細は下記へお問合せください。

申込受付 平成5年11月1日(月)~30日(火)(当日消  
印有効)

問合せ先 〒105 港区西新橋1-6-11 西新橋光和ビル5階  
(財)電気通信普及財団 Tel.(03)3580-3411

## 会員の方へお願い

### ○ 学会誌等の送本先変更

勤務先、自宅住所に変更のある方は、必ず所定の「変更連絡届」用紙にて（偶数月号に添付）早急にご連絡ください。変更の受付は毎月20日に締切り、翌月号から変更いたします。21日以降受付分の変更は翌々月号からとなりますのでご了承ください。

### ○ 退会

書面（様式任意、はがき可）にてお申し出ください。

なお、今年度会費が未納の場合には、送本した学会誌を会費月割りで精算のうえ請求させていただきます。退会のお申し出がありませんと、会費未納のため本学会から除名することがありますので、ご承知ください。

### ○ 論文誌のご購読について

論文誌「情報処理学会論文誌」（月刊）は有料頒布となっておりますが、会員価格にてご購読いただけます。まだ購読されていない方は、この機会にぜひご購読くださいますようお願いいたします。

論文誌年間購読費 4,500円（会員価格）

※変更、新規購読等のご連絡は必ず会員番号を明記の上、事務局会員係までお願いいたします。

### ○ 会費の預金口座自動振替納入について

正会員（一括扱いの会員は除く）の方は、会費および購読費を毎年3月27日（休日の場合は翌営業日）にご指定の銀行口座から自動振替により納入することができます（研究会登録費は取扱いません）。

希望される方は所定の預金口座振替依頼書にてお申込みいただきますので、事務局会員係までご連絡ください。

### ○ 入会のおすすめ

情報処理学会では、情報処理関連の学術研究あるいは事業に携わっている方、関心をお持ちの方の入会をお待ちしております。お近くにまだご入会いただいていない方がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介ください。

入会申込書は学会誌奇数月号に添付しておりますのでご利用ください。

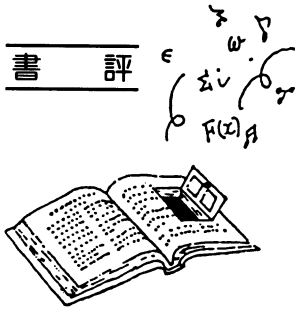
### ※入会の手続き

所定の入会申込書に必要事項をご記入の上、下記の通り入会金および年間会費を添えてお申込みください（新入会時の入会金等の自動振替納入はできません）。

会員種別	資格	入会金	年間会費	学会誌	*論文誌	研究会登録
個人会員	正会員	2,000円	9,600円	無料 送付	有料 4,500円	各研究会ごとに 3,000円～ 5,500円
	学生会員	—	4,800円	無料 送付	有料 4,500円	〃
賛助会員	本学会の目的事業を賛助する団体	—	** 1口につき 50,000円	無料 送付	有料 4,500円	〃
購読員	○大学、教育機関、官公立の研究機関、図書館あるいはこれに準ずる団体 ○賛助会員である企業の事業所あるいは研究所	—	** 1口につき 19,800円	無料 送付	無料 送付	

\* 非会員の場合は、論文誌7,800円（学会誌は1冊1,600円～2,000円）

\*\* 何口でも可



浅野孝夫, 浅野哲夫 訳

“計算幾何学入門”

総研出版, B5判, 443 p., ¥7,200, 1992

ISBN 4-7952-6321-3

《ケイサンキカガク》という大部分の方は計幾科学の方を思い浮かべられるだろうが、本書ここ十数年来アルゴリズムの分野においでます重要性を増しつつある計算幾何学についての斗書である。計算幾何学とはその名のとおり幾学的なデータをコンピュータで処理する際に生るさまざまなアルゴリズムの問題やデータ構造について研究する学問であり、その応用分野はD、コンピュータ・グラフィックス、画像処理、ボティックス、VLSI設計、地理情報処理など多岐にわたっている。また直接には幾何学的実体をこえないようなORの問題であっても、それに内する幾何学的構造に注目して計算幾何学の手法適用するというも行なわれており、今後その応用分野はますます広がっていくことが期待されている。

本書は計算幾何学(Computational Geometry)命名者でもあるShamosの博士論文をもとにparataが大幅に加筆・修正を施して再構成したのであり、Edelsbrunnerの“Algorithms in Combinatorial Geometry”とならんで研究者必読書である。原書の初版は1985年に出ているその後も改訂作業がなされており(本訳書は増訂第3刷、1990年版に基づいている)、8年たっても時代遅れという印象は受けない。読者としては大学院レベル以上の研究者、および上級応用分野における研究者・開発者が想定されているが、本書はけっしてすぐに使用できるサブ・チャンネル集ではないことを注意しておく。本書の構成は次のようになっている。

- 第1章 序論
- 第2章 幾何学的探索
- 第3章 凸包: 基本アルゴリズム
- 第4章 凸包: 拡張と応用
- 第5章 近接関係: 基本アルゴリズム
- 第6章 近接関係: 変形と一般化
- 第7章 交差問題
- 第8章 長方形の幾何学

各章はより効率の良いアルゴリズムを求めて、また、より広い応用分野を求めてといった研究の歴史的展開にほぼ沿っており、読者は単なる事実の羅列ではなく、生き生きとした学問の発展をたどっていくことができるような構成になっている。したがって訳者序文にもあるように本書によって「読者は計算幾何学における議論展開の方法論を系統的にかつ容易に学べる」わけであり、このことがこの分野における初めてのまとまった教科書であるという事実とともに本書の大きな特色をなしている。

まず第1章で古くはユークリッド幾何の作図問題から現在に至るまでの、幾何学と計算量の理論とのかかわり合いについて概観し、記法・計算モデルの簡単な紹介をした後、第2章で点位置決定問題・領域探索問題を扱っている。いくつかの領域に分割された空間とその空間内の点集合が与えられた時に、前者は質問点に対しそれを含む領域を、後者は質問領域に対しそれに含まれるすべての点(あるいはその個数のみ)を答える問題である。続く第3, 4章では計算幾何学においてもっとも基本的な問題の一つである凸包を計算するアルゴリズムとその統計学などへの応用について述べられている。たとえば2次元の場合、凸包とは与えられた点集合を含む最小の凸多角形として定義されるが、直観的には木の板に何本かの釘が打ちつけられていて、それらをすべて囲むようにゴムひもを手で広げる。そうして手を離れた時にゴムひもが釘に引掛かってできる図形が凸包である。定義上の単純さとは反対に(あるいはそれゆえに)凸包はパターン認識、画像処理、資源配分問題など数多くの応用がある。第5, 6章は近接関係問題について論じ、ポロノイ図やユークリッド最小木、三角形分割を構成するアルゴリズムを紹介している。凸包がある意味で点集合内のもっとも遠く離れた点どうしを見せる幾何学的図形であるのに対